ライオン誌6月号 2004年（平成16年）5月20日発行
昭和33年12月19日付第3種郵便物認可毎月1回20日発行第46巻第12号

IN JAPAN
Official publication
of Lions Clubs
International

June 2004

THEME アイバンク運動

あの人が眼の中に生きている 感動のうねりを広げたアイバンク運動

ROAR 333複合地区

ヘッドライン：栃木県足尾・日光／ふるさと探訪：茨城県常陸太田

We Serve

C O N T E N T

表紙メモ

日本の風景
群馬県赤城村

写真:編集部

デザイン:内田誠治

改革は奉仕と成長への扉

Innovation as a Way of Service and Growth

国際会長メッセージ

2003-04 年度国際会長
テーサップ・リー
Dr. Tae-sup Lee

ライオンズクラブ国際協会は自らの組織を強化し、ボランティア奉仕の新たな地平を切り開いていかなければなりません。そのための創造的な方法を採用し実施するよう、本年度、私は世界中の会員に呼び掛けてきました。「未来の扉を開く改革」というテーマは、自らの時間と才能を人類のためにますます惜しみなく捧げることが出来るよう、会員たちを励まし導くものとなっています。世界各地を訪問し、会員が取り組んでいる事業の膨大な報告書に目を通す中で、私はその確信を一層深めることになりました。

より多くの男女が世界最大かつ最も活動的な奉仕組織に入会し、そのプログラムと友情を分かち合うことが出来るよう、ライオンズの扉は確実に開かれつつあります。大きく開かれたこの扉は、若い人々に喜びと幸福をもたらすことにもつながります。彼らは仲間との友情を育て、奉仕がそれぞれの人生と地域社会の生活に及ぼす決定的な重要性を認識することになるでしょう。

私たちは、改革と国際協会の誇るべき伝統を調和させることで、最近までは夢に過ぎなかった目標を達成することが出来るはずです。本年度のテーマに導かれ、会員はそのことを十分に理解しています。史上最大の成功者の一人であるウォルト・ディズニーは、「夢見ることが出来れば、それは実現させることが出来る」という言葉を残しています。私たちの運命を決定するのは私たち自身であり、自らの伝統に基づき幅広い能力を活用すれば、それぞれの地域社会と全世界において、クラブの強化と恵まれない人々の生活の向上を達成出来るでしょう。そのことを常に忘れてはならず、また疑いを抱いてはなりません。

ライオンズはクラブと会員の増強に革新的な方法を取り入れており、特に女性の招請は大きな成功を収めています。今日の社会的・人道的な必要にこたえる広範な奉仕活動、そして個々のクラブと国際協会全体の基礎の双方を強化する指導力育成プログラム、更にはライオンズの本質と活動に対する人々の認識と評価を高める質の高い広報活動の中に、その成果は確実に表れています。

技術には決定的な価値があり、革新はその基本的な要素の一つです。エンジニアという職業柄、私はこのことを固く信じています。社会とライオンズクラブ国際協会が前進し、課題を克服していくためには、革新的な技術と活動方法を持続的に開発する必要があります。しかしながら、「科学

INNOVATION:
GATEWAY TO OUR FUTURE
（未来の扉を開く改革）

フィリピン・バコロド・シティーで行われたライオンズ・アイ・キャンプを訪問。エム・L・アン301-B地区ガバナー（右）からボランティアの眼科医の紹介を受ける国際会長。左から２人目はベティ・ディッチング地区視力保護・盲人福祉委員長

技術が我々をどこへ導くかを問うてはならない。むしろ、我々の目標の達成に役立てることが出来るよう、科学技術をいかに管理すべきかを考えるべきである」という名言がありますが、私はこの堅実な戒めを常に心に留めてきました。目的達成に役立つ革新的な方法を開発し、実行に移すためには、間違いなく献身、自己修養、不屈の精神が求められます。世界中のライオンズがそのすべてを十分に備えていることは、八十余年の歴史を見れば明らかでしょう。私たちには、未来を見据え、未来を作り上げてゆく個人的、集団的な責任があります。皆さんが今後もその自覚を持ち続けてくださることを、私は願ってやみません。

　改革はライオンズの最も重要な課題であると同時に、無尽蔵の資源でもあります。私たちは会員を増強し、奉仕プログラムの効果と質を最大限に高めていかなければなりません。そのための創造的で有効な方法の開発は、改革の実現を通してのみ可能となります。改革は、能力の拡大と基礎の強化という二つの成果を同時にもたらし、国際協会の伝統と「ウィ・サーブ」という理想への献身をますます高めることにつながるはずです。

　改革を実現させるためには、直面する問題の解決に向けて想像力を働かせ、新たな奉仕活動に対する最善の実施方法を決定する必要があります。その必要性は、通信手段に著しい革新をもたらした情報技術について考えるだけでも明らかでしょう。情報技術は個々の会員の生活を変化させると同時に、ライオンズクラブ国際協会の進むべき方向を決定付けることになりました。しかしながら、改革による実りを最大限に収穫するためには、あらゆる機会をとらえようと常に注意を怠ってはなりません。これまでに試みられたことのない新たな技術は、私たちを未知の世界へと導くでしょう。地図にない道に足を踏み出し、その行く先を確かめようではありませんか。改革こそ未来への扉であることを、私たちは身をもって経験することになるでしょう。

あの人が眼の中に生きている

感動のうねりを広げたアイバンク運動
―ライオンズが支えた歴史の日々―

「生きていくのがつらい」

千葉市にむ山田祥子さんのお父さんは今年七十一歳。緑内障を患い、明るさがわずかに分かる程度でした。

祥子さんが孫を連れて行っても顔が分からず「じーじ、お目め見えないの」と言われます。「じーじはね、病気で、お目めが見えないの」「じーじかわいそうだね」。そんな会話を聞くともなく聞いてしまいます。

お父さんはいつしか「生きているのがつらい」というのが口癖のようになってしまいました。

祥子さんが話してくれました。

「急に涙を流し、家族が、どうしたのと聞くこともありました。父は見えないということで、もう絶望のどん底に落ち込んでいました。

ある時、眼科の先生から角膜移植の話を聞きました。移植の予約が出来るというのです。半信半疑でした。父は見えるようになるという希望が上回り、このまま死にたいと言わなくなりました。

その後、ドナーの方のご好意で角膜移植手術を受けました。父は、孫たちを抱きあげて、本当に嬉しそうでした。お会いすることの出来ないどなたかのおかげで、父は生きる力を頂きました。ドナーのご家族の皆様、ありがとうございました。本当に、本当に、ありがとうございました。私たち一家も、ご好意にこたえるためアイバンクに登録しようと思います」

東京の伊藤さち子さん(50歳)は、「私は、足も悪くていつも杖をついていますので、今まで苦労してきました。それが、手術をして頂いて、あまりにもよく見えて、杖を忘れて歩き回って、後から気付いて、杖、杖、杖と探し回るほどよく見えて、本当に楽に歩けるようになりました。

色がきれいに見えるのは何年ぶりでしょうか。色がこんなにもいっぱいあったということが信じられません。もう少し視力が回復してきたら、ぜひ昔やっていた編み物をしたい、と思っています」

「お母さん愛をありがとう」

大阪生まれの中村文子さんは、八年前、娘さんのいる千葉県船橋市に引っ越して来ました。七十六歳になっていました。

娘さんは子どもの時、いつもお母さんの写真を持ち歩いていました。

全国の献眼登録者は一九七六年に年間一万人を超え、八三年には一気に八万人に迫った。が、九三年から登録者が減り始め、その年約六万人だったのが、二〇〇一年には半分以下の二万八千人ほどになってしまった。登録が実際の献眼に結び付くケースも、あまり多くないのが実状で、現在、献眼による角膜移植の件数は年間約千五百件、これに対して待機患者は約五千五百人となっている。日本ライオンズの歴史とも深くかかわるアイバンクの現状をリポート。

※個人のプライバシーにもかかわるため、文中のドナーや移植者名はすべて仮名としました。

それを見とがめた先生が、
「中村、宝塚のブロマイドなど持って来たらあかん」
と言ったほど、お母さんは美人でした。娘さんもそれが自慢でした。
美しく年老いたお母さんは、
「いよいよの時は延命治療などせえへんようにな。最期は散骨でええから」
と言っていました。
でも家族は相談しました。
「美しいお母ぁはんがみんな灰になってしまうなんて、悲しいよ。アイバンクに皆で登録しよう」
文子さんの娘さんが、アイバンクのことを知っていたのです。お父さんと娘さん夫婦、四人が登録して、それからは皆がいつもドナーカードを持って歩きました。
文子さんは八十歳の時から車いすの生活になって、八十四歳で最期の日を迎えました。
悲しみの日は、文子さんの献眼の日でもありました。覚悟はしていましたが、いざとなると、やはりためらいがありました。亡くなったお母さんから、眼を摘出するのです。
娘さんが話してくれました。
「母と別れた日、悲しみの本当の意味を知ることが出来ました。
母の眼は、片方は七十代の女性に、もう片方は二十代の青年に差し上げることが出来たそうです。二十代の青年は私どもの次男と同じ年です。母の眼が、孫のような方の目に、光になったんです。母はどんなに嬉しかったことでしょう。
お二人とも、この地上にあって、母と同じものを見ていてくれるのだ。そう思うと、それだけで胸がいっぱいになります。母の贈り物です。
母は生きている時に、いっぱいプレゼントをくれました。そのどれよりも大きくて、重い、幸せがぎっちり詰まった贈り物です。
お母ぁはん、ありがとう。いつの日か、父からももらいます。夫と私どもも息子たちにプレゼント出来ます。母が教えてくれた喜びです」
生前、献眼の意志をはっきりさせて、アイバンクに登録しても、家族の承諾が得られないと、登録は生きてきません。
更に、遺族がそのつもりでも、周囲の人たちが「死んでからまで痛い思いをさせるのか」、「死んだ者になんてむごいことするんだ」と、摘出手術に反対して、遺族が故人の意志を忘れてしまうと、だめになってしまいます。
献眼という奉仕は、悲しみを超える遺族たちの強い意志がないと実現しないのです。

「アイバンク運動が実った地」

「角膜移植に関する法律」が公布されたのは、一九五八年のことでした。その前年、岩手医科大学の今泉亀撤教授が行った角膜移植手術が刑法の死体損壊罪に問われたのが、この法律の出来る直接のきっかけでした。それから四十六年の歳月が経ちました。

日本初のアイバンクが設立されてからでも、四十一年が経ちます。今では全国にあるアイバンクですが、これを設立させる運動を推し進めたのが、ライオンズクラブでした。

アイバンクが出来た年の献眼登録者は、ライオンズなどの八千六百人で、実際の献眼者はほぼ一・三％の百十五人でした。

六七年には登録者の実に一二％の方が、献眼者になられました。それだけ、遺族や周囲の人の理解があったわけです。

ところで、このような高い献眼率を軽々と超えている地域が静岡県にあるのです。静岡県小山町です。推進母体になったのは、六四年に出来た小山ライオンズクラブでした。

小山ライオンズクラブが献眼運動に取り組み出したのは、沼津ライオンズクラブからの呼び掛けによるものでした。よくご存じのように、沼津ライオンズクラブは六五年からアイバンク運動を強力に繰り広げ、七一年にはアイバンク運動全国大会を沼津で開きます。全国からライオンズ会員が集まりました。

富士山の裾野に広がる小山町は日本一の献眼の町

小山ライオンズクラブは七〇年、五周年記念事業として会員全員が献眼登録し、翌年には町民へのPRのために「アイバンクの夕べ」を開催。また小山町の区長会でアイバンク運動についての協力を呼び掛け、小学校校区の会合でもPRを行いました。

更には会員が手分けをして、一軒一軒、献眼について説明して回るというローラー作戦を展開。その甲斐あって、老人会を中心にライオンズ友の会まで出来ました。こうした組織を通して、献眼運動の啓蒙が進んでいったのです。

七二年五月、クラブの最長老だったライオン小山彦平が、小山町初の献眼者となりました。その後、毎月会員か、会員の親類の人たちが献眼者となりました。町で亡くなった方があれば、会員たちは必ずお悔やみに上がって遺族を慰め、その上で献眼の意義も説きました。

小山では、不幸があった時、集落の人が総出で通夜や葬儀を手伝います。クラブでは、献眼者の葬儀に生花を贈り、アイバンクからの感謝状を捧げてきました。

こうして、運動を始めてから八年目には物故者の一〇％を超える献眼率を達成するまでになりました。その年、クラブでは十五周年記念事業として献眼者合同慰霊祭を行って、改めて故人の尊い意志に感謝を捧げ、ねんごろに弔いました。心を尽くす、ということが、この活動ではとても大事なことなのです。

この手厚さが、町の人たちに感銘を与えたのでしょう。初の献眼者から数えて十年目には百人目の方が献眼され、その年、献眼者百霊合同慰霊祭が実施されました。この後、二百霊、三百霊……と節目ごとに合同慰霊祭を実施。八九年には二十五周年記念事業として、富士霊園に献眼者慰霊碑を建立しました。

このころには小山町の物故者の四人に一人が献眼をするほどになっていました。こうなると、町民に献眼の経験者が多くなり、ライオンズの会員が献眼の話をするまでもなく、近所の人が遺族に献眼を勧めたり、遺族自身がライオンズに連絡してくるようになっていました。

特に小山ライオンズクラブの事務局がある小山町菅沼近辺の人たちの献眼率が高く、町役場からクラブ事務局の前を通る道路は、「献眼通り」と呼ばれていたほどです。

「献眼の町となった小山」

小山での献眼の申し出は、まず小山ライオンズクラブ事務局あてに連絡が入ります。ウィークデーの午前十時から午後四時までなら、事務局の大岩智子さんが応対し、土日や時間外の場合はアイバンク委員長宅に電話が転送されるようになっています。

一報が入った後は、東京・板橋にある日本大学医学部付属病院の眼科に連絡、摘出医の派遣を要請します。続いてアイバンク委員会の構成員に連絡して摘出医を迎えに行く会員を探し、同時に全会員にファクスを入れ、近くの会員はドナー宅に出向き、お悔やみを述べると共に、冷たいタオル等でドナーの眼を保護するよう遺族に依頼するそうです。東名自動車道御殿場インターで摘出医を迎えた会員は、その足でドナーの家まで案内します。ドナー宅では眼球提供の承諾書に遺族の署名をもらう仕事もあります。

アイバンク委員会が中心ではありますが、全会員が協力しながら献眼運動を推進しているそうです。「献眼は、一人の英雄だけでは出来ない。会員が力を合わせることが必要」とは、第一号から現在まですべての献眼を見てきたライオン長田璋の言葉です。

また、ライオン土屋雄司は「献眼というのは、遺族の承諾を得て、亡くなった方の眼を頂くわけで、人の心の機微にふれる非常にデリケートな部分があります。小山ライオンズクラブでは、そこを最も重視しています」と話してくれました。「アリの一穴で崩れることもあります。慎重にならざるを得ません」。

小山ライオンズクラブの会員が社長をしている建設会社の社員の夫人が亡くなった時のことでした。社長からかねがね献眼の話を聞いていたその社員は、長男に話しました。

「お母さんの眼を、見えない人のために役立ててあげたいんだ。どうかな」

長男は賛成でしたが、離れて暮らしていた長女が猛烈に反対しました。「亡くなったお母さんから、眼まで取ろうというの！」。

でも、その社員の方の決意は変わりませんでした。御殿場に住んでいたその方は、小山ライオンズクラブに献眼を申し出ました。

夫人の角膜は、東京で十二歳と十四歳の子に移植されました。告別式の日、感謝状が贈られ、移植が成功したことが報告されました。

お母さんの眼が生きている、長女は、ハッとそのことに気付きました。しかもお母さんの角膜を贈られたのは、我が子と同い年の子でした。眼の不自由だったその子が、母の角膜で見えるようになったのです。父の思いの深さにも気付きました。

「良かったな。お母さんの眼が立派に役に立って。なんか、お母さん、まだ生きてるような気がするね」

葬儀に参列した人々も同じ思いだったに違いありません。告別式の後、長女は、進んで献眼登録を申し出て、小山ライオンズクラブの運動の輪は町の外へと広がっていきました。

小山ライオンズクラブからの献眼者は四月初旬で九百四十八人を数えました。亡くなった方の献眼率は二五パーセントから三〇パーセントという高さで、毎年、約五十人の方が献眼しています。まさに日本一の献眼の町です。

小山の動きは周辺にも影響を与えました。御殿場市や裾野市でもライオンズを中心に献眼運動が広がり、小山を含むこの地域の献眼者は、静岡県のほぼ半数に上ります。全国の約一〇パーセントになろうという勢いです。

「東京麻布ライオンズクラブの願い」

献眼登録者が年々減って行く中で、独自の方法でアイバンク運動にかかわっているライオンズクラブもあります。

東京麻布ライオンズクラブが献眼事業に取り組んだのは、十五年ほど前からでした。一連の活動の中で、東京歯科大学とのつながりが出来、同大学市川総合病院の角膜センター設立に尽力しました。特にライオン横瀬寛一は、同センターの中心である坪田一男教授が、たまたま次男の同級生ということもあり、個人的にも大きな力となりました。

この角膜センターでは日本初の角膜移植コーディネーターも誕生させました。角膜を提供してくれる遺族との間での問題の解決、病院関係者への角膜提供の働き掛け、移植患者の世話など、角膜移植をめぐってはさまざまなケアが必要です。

そのような実践を経て、東京歯科大学市川総合病院の角膜センターは全国的に評判となり、今では角膜移植件数が年間七百例に達しています。

また、センターでは毎年、角膜を提供した遺族の方と移植患者、関係者を招いて、ドナー・ファミリーの集いを開いて故人の霊を慰めてきました。集いの後には、皇居一周マラソン「ラン・フォー・ビジョン」も実施され、東京麻布ライオンズクラブがコースに分かれて見守り、千葉県・浦安ライオンズクラブも協力しています。

一つのクラブの出来ることには限りがあります。でも、このような催しを通して、少しでもアイバンク事業への理解が広まれば、小山並みとはいかなくても、献眼登録が増え、献眼者も増えるのかもしれません。

ライオン横瀬は言います。

「何かすごい力が、静岡県にはあって、献眼することが自分の終生の一つの最期のお務めだという考え方を持っていらっしゃる方が非常に多いんです。全国のライオンズクラブが、一年間に一人ずつ献眼者を出して頂ければ、もうそれだけで相当な数になるんです」

瀬古利彦氏をゲストに迎えた前回の「Run For Vision」では、5キロコースに159人、10キロコースに77人、1キロウォーキングに21人のエントリーがあった

ライオン横瀬は角膜センターの事務局長らと、全米アイバンク協会の総会に三回ほど出席し、各地のアイバンクも訪問しています。カリフォルニア州サクラメントでは、アイバンク運動の中心となって活動されていた日系の地区ガバナーにお会いしたそうです。その地区ガバナーこそ、二〇〇二年に大阪で国際会長に就任されたライオンケイ・K・フクシマでした。ライオンフクシマはその時、次のように言ってライオン横瀬を励ましました。

「横瀬さん、心配することはないよ。アメリカだって三十年前はわずかだったんだから、日本も頑張れば、必ず出来ますよ」

日本眼球銀行協会でも、理解の輪を広げる取り組みを開始しています。協会では協会認定のサポーター制度（大黒幸雄委員長／日本眼球銀行協会常務理事／富山県・高岡伏木ライオンズクラブ）をスタートさせて、昨年末から各地で講習会を開き、昨年度は百六十六人のサポーターを認定しました。今のところ全員がライオンズです。

サポーターは遺族との話し合いから、摘出医の送迎、眼球の搬送などこれまでライオンズが協力してきた奉仕活動をすることになります。

最後に、東京歯科大学角膜センターに寄せられたドナーの娘さんの手紙を紹介して報告を終わりたいと思います。

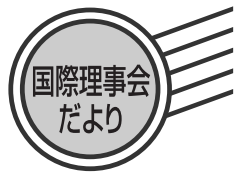
「父が亡くなった時、先生から献眼についての説明があったんです。突然だったので動揺しました。母が、主人は体がぼろぼろになっていますと言いましたら、先生は、角膜は提供出来ますよ、と言ったんですね。

角膜を提供すれば、二人の方が見えるようになる、と言うんですね。母は、ちょっと考えていたようですが、どうぞどうぞと言っちゃったんで、私は父の眼がどうかなっちゃうのかと心配でした。

でも今、二人の人の目の中で、父が生きていると思うと、とても嬉しくなっちゃいます。心が何だか、ほわんとなって、温かくなるんです。父が死んだことは悲しいけれど、父が最期にした人助けは素晴らしいです。人間として最期のチャンスを生かした、本当に立派な最期でした」

青山研（ルポライター）

■国際理事
大久保　彦
（長崎東）

時代に沿った変化を遂げて 更なる躍進を

桜も散り、つつじの候となってきました。年月は最近特に激しく流れるような気がします。

二〇〇三年七月に新年度を迎えてから、新しい地区ガバナーと共に会員の皆さんも今年の目標に向かって精進されて来られたことと思います。私も国際理事にご推薦頂き、日本の主張を伝えると共に、国際協会のプログラムに順応すべく過ごして参りました。その間、良き友に恵まれ何とか自分の仕事も出来たような感じがします。

三月二十五日から四月四日まで、お隣の国、韓国・ソウルでLCIF執行委員会及び国際理事会が開かれました。いずれ本誌に議事要録が掲載されますが、主な内容を挙げさせて頂きます。

?女性会員の入会金及びチャーター費の免除プログラムは二〇〇四年六月三十日をもって終了

?MERLの各委員長の任期は一年とし、地区ガバナーが認めて任命すれば三年任期も可

?キャンペーン視力ファーストは過去一九九二～九四年度に行われたが、その第二段階が二年後に始まる予定

?二〇〇四・〇五年度各地区ガバナーはLCIF理事会理事（投票権はない）となる

?LCIF交付金申請八十一件中、七十七件を承認。日本からの申請はすべて承認

?二〇〇五年七月一日から地区ガバナーは複合地区ガバナー協議会議長職を兼務することは出来ない。二〇〇五・〇六年度から議長には前・元地区ガバナーが選出または選任される。会則の改定はせず、国際理事会方針書の規定が改定になる

?会員数が十人未満のクラブには四月までに会員増強を奨励する手紙を出し、しばらく様子を見る

ライオンズクラブ国際協会も今、時代の波に対応する変化を真剣に考えているようであります。一九一七年に結成されて今日までにこの壮大な団体に成長したのは、先人たちの時代に沿った努力がもたらした成果であり、この存在を更に増大させるのは論を待たないと思います。私たちは今まで以上に独創性を求めて積極的に取り組み、アイデアが生まれたら迷わず手を挙げて意見を述べ、かつてのスズラン給食や白い杖、救ライ運動など、過去に残る輝かしい成果に負けない努力をしたいものです。

ライオンズはまず皆で集まりましょう、そして奉仕をしましょうというのが原点です。友情も相互理解もその後でついてくるでしょう。物事は一人で見ると一カ所しか見えなくても、多くの友と見るとより確実にその全体像が見えてくると思います。日本にライオンズが入って五十二年。各地区では年次大会で一年間の反省と更なる飛躍と、年に一回会う友との温もりのある握手で互いの存在を確かめ合っておられる時期と思います。大会では決めるべきことをきっちりと決め、次なる年に向かう研修の場、国際大会に通じる大切な行事としてください。皆さんの真摯な研修をお祈りしております。

私は国際理事会の会員増強委員会に属していますが、世界中で会員のリテンションが語られています。今こそ真剣になぜなのだ、どうしてなのだと考え、後に続く人たちに尊敬と憧れを持って入会して頂けるように、自らを高め、魅力あふれるクラブ・ライフを作るよう、皆さんとご一緒に努力したいと感じるこのごろであります。

後進たちに美しい道を作って差し上げることが私たちの任務だと思います。皆さんのご健康をお祈りします。

ライオンズ ニュースカセット

NEWS CASSETTE

330-C地区で日本初の女性地区ガバナー・エレクト誕生

四月十～十一日、大分市において337-B地区年次大会が開催され、第五十回目となる各準地区・複合地区年次大会の幕が上がった。今年は四月中に十八準地区、五月に十二準地区と六複合地区が開催され、六月五日の331複合地区（北海道札幌市）と334複合地区（富山市）大会まで、約二カ月にわたってほぼ毎週末、全国各地で年次大会が開催される。

そのうち四月二十五日にさいたま市で開かれた330-C地区年次大会では、日本で初めての女性地区ガバナー・エレクトが誕生した。大宮グリーン・ライオンズクラブのライオン櫻井慧子は、一九八六年浦和ライオネスクラブ初代会長、九二年大宮グリーン・ライオンズクラブ初代会長、二〇〇一年度ゾーン・チェアパーソン、〇三年度副地区ガバナーを経て、この日を迎えた。七月に開催されるデトロイト／ウインザー国際大会で、正式に地区ガバナーに就任する。

デトロイト／ウィンザー国際大会における公式通達

以下の国際会則及び付則改正案が二〇〇四年国際大会において提出され、代議員の票決を受ける。

協会がその体面及び知名度を世界中で向上させることは、極めて重要である。また、執行役員及び国際理事が、国際大会を主催出来ないかもしれない地域のライオンズと接触する機会を持つことも、同様に重要である。

そこで、国際理事会は全会一致で、次の決議の承認を推薦する。これにより協会は慎重な判断のもとに、協会のニーズに応じて理事会会議を計画することが出来るようになり、年に一度国際本部で理事会会議を開かなければならないという規定がなくなる。

下記決議を承認するべきか。

国際付則第五条一項に「十月または十一月及び三月または四月の定例会議の一回は、国際本部で開かれる。その他の定例会議は」とある部分を削除する。これにより、国際付則第五条一項は次のように改正される。

「国際理事会の定例会議は、国際大会閉会後直ちにその都市で開かれる。さらに、十月または十一月及び三月または四月の定例会議は、会長が決める日時、場所で開催される。

最後の定例会議は、国際大会開催都市で開かれるが、大会開会までには閉会する」

国際第二副会長立候補者

ジミー・M・ロス

アメリカ・テキサス州キタキュー。キタキュー・ライオンズクラブの会員で、地区ガバナー、協議会議長、州幹事を務めた後、一九九六~九八年国際理事に就任。2複合地区長期計画委員会のメンバーであり、州の会員・エクステンション・大会委員会の委員長を務めている。また、テキサス・ライオンズ・キャンプの理事を務めるほか、二百以上の新クラブ結成に貢献した。地区ガバナー賞二回、国際会長賞六回、国際親善大使章など受賞多数。MJF。ロス元国際理事は元判事で実業家。ベルダ夫人と三人の娘がいる。

次期会長テーマは「奉仕を通して成功を分かち合おう」

二〇〇四年度の国際会長テーマは、「奉仕を通して成功を分かち合おう(Share Success through Service)」。クレメント・クジアク第一副会長は、次年度の国際プログラムで青少年や子どもへの奉仕、平和、指導力育成、PR、会員増強、LCIFに重点を置く方針を掲げている。〇四年度国際プログラムは本誌八月号に掲載する予定。

ライオンズクラブ国際協会
第87回国際大会

公示

2004年7月5日～9日
アメリカ・ミシガン州デトロイト
カナダ・オンタリオ州ウィンザー

国際会則及び付則第6条第3項の規定に従い、ここにライオンズクラブ国際協会の2004年国際大会の開催を公示します。第87回国際大会は7月5日（月）から9日（金）まで、アメリカ・ミシガン州デトロイトとカナダ・オンタリオ州ウィンザーで開催されます。

今大会では、ライオンズクラブが真に国際的な協会となった歴史的な広がりを記念することになるでしょう。1920年にアメリカ以外では最初のクラブとして、デトロイト・ライオンズクラブのスポンサーによりウィンザー・ライオンズクラブが結成されました。今やライオンズクラブは193の国及び領域に及んでいます。

今大会では2004-05年度国際役員及び理事の選挙と、重要な国際会則改正案の投票が行われ、新国際会長の就任式もあります。啓発的なゲスト・スピーカーを招いていますし、各種セミナーやフォーラムは出席した皆さんが地域社会でより効果的な奉仕を行うのに役立つことでしょう。盛大なパレードは、私たちが世界最大の奉仕クラブ組織であるという事実を、改めて思い出させてくれるでしょう。

ミシガン州とオンタリオ州のライオンズクラブは、世界各国から訪れる数千人のライオンズとその家族を温かく迎える準備を整え、2004年の大会開催都市での滞在が楽しいものになることを約束しています。私は皆さんと共に今年度の成果を振り返り、私たちのテーマ「未来の扉を開く改革」のもたらした効果を考えるのを楽しみにしています。

敬具

2004年5月1日
アメリカ・イリノイ州オークブルックにて

ライオンズクラブ国際協会
国際会長　テーサップ・リー

国際大会ゲスト・スピーカーは、故キング牧師夫人

デトロイト／ウィンザー国際大会の第二本会議（七月八日／ジョー・ルイス・アリーナ）で、故マーチン・ルーサー・キング牧師の夫人であるコレッタ・スコット・キングさんが基調講演を務めることが発表された。キングさんは公民権運動のリーダーであり、世界的にも最も影響力のある女性リーダーの一人。一九六八年にキング牧師が暗殺されて以来、夫の生涯を掛けた夢であった非暴力による社会変革を実現することに情熱を傾け、人種及び経済の公平や、人間の尊厳の価値や信仰の自由の促進、恵まれない人々への支援などに人生を捧げている。

また、インターナショナル・ショー（七月六日／ジョー・ルイス・アリーナ）には、デビー・レイノルズさんが出演する。ジーン・ケリーらと共演した「雨に歌えば」を始め数々の映画や舞台に出演。三十年以上にわたりラスベガスなどの舞台で主役を務めている。ハリウッド・スターたちの慈善組織「サリアンズ」の会長でもある。

インパクト・プログラム情報

◉

いろいろなタイプのクラブが生まれた 331-A地区の1年

INNOVATION

四月十日、331・A地区（道央／杉本忠夫地区ガバナー）に、今年度三つめの新クラブが誕生した。

この日結成式を迎えた、そらちライオンズクラブ（山本良明会長／23人）は滝川中央ライオンズクラブから九人、砂川ライオンズクラブから七人の会員が参加している。現在、滝川、砂川の両市は赤平市、歌志内市、上砂川町、浦臼町と共に「中空知地域合併協議会」を設置して、新市建設計画を進めている。

そらちライオンズクラブもこうした動きをにらみ、より広範な地域から人材を集めよう、と「そらち」の名称を選んだ。空知管内は大きく、北空知、中空知、南空知に分かれるが、同クラブはこのうち中空知の五市五町、及び南空知の一部を含めた奉仕地域を想定しているという。とはいえ、大きなクラブを目指すわけではないようだ。とりあえず六月十三日のチャーター・ナイトまでに三十人を目標にしているが、それ以上の拡大は考えていないらしい。

四月二十日にFM中空知に出演した山本会長はその辺を、「運営面では経費を抑え、まとまりのあるクラブとなるよう心掛けたい」と語った。更に聴取者に対し、自クラブが計画しているアクティビティの内容を話し、ライオンズクラブへの理解と協力を求めた。

一方、二月二十四日に札幌しらかばライオンズクラブのスポンサーで結成された札幌赤レンガ・ライオンズクラブ（丹羽正明会長／40人）には札幌市内の元ライオンズ会員が大勢参加している。チャーター・ナイトまでに再入会した会員は十二人で、約三分の一が元ライオンズという構成になった。

自身も元会員で、チャーター・ナイト委員長を務めたライオン安部尚明は、元会員の再結集を呼び掛ける中心となった。その中で「元会員の中にはライオンズがいやになって辞めたわけではない人も多い。経費の面もあるだろうし、そのクラブの個性の問題もあるだろう。クラブの雰囲気が自分に合えば、積極的に戻ってきたい、と考えている」ことが分かったという。「そのせいか、元会員の方は特に気合いが入っている」と、ライオン安部は話す。

札幌赤レンガ・ライオンズクラブはライオンズの原点に返り、アクティビティは事業資金獲得を元に実施することと、労力奉仕を中心にすることを基本にしている。また経費のかからない運営を目指し、月五千円の会費で賄うことにした。更には、二十代が五人いるなど、若い会員が入会した一方、七十代の会員もいて、幅広い年齢層で構成されており、会員増強の上で大きな強みになりそうだ。

331・A地区では昨年十一月に札幌コスミックシニア・ライオンズクラブ（田原ひさ江会長／23人）が誕生しているが、同クラブは日本で最初の女性シニアクラブ。今年度、331・A地区に誕生したクラブはいずれも、既存クラブにはない特徴を持っており、今後、同地区にどのような新風を吹き込んでくれるか、大いに期待される。

LCIF In Action

健康という財産を守るため
地域医療のニーズにこたえる

ガーナでは、ポリオが原因で身体に障害を持つ子どもは、ほぼ間違いなく、大人になってからも障害が残ったままだ。整形外科医の数は少なく、病院の手術室は生命にかかわる手術が必要な患者であふれている。しかし、ライオンズとLCIFにより、ポリオやその他先天性の奇形を持つ何千人もの子どもや大人が、再生や矯正の整形外科手術を受けることが出来るようになるだろう。オランダのマーストリヒト・ライオンズクラブは、デュアヨウ・エンクワンタのセント・ジョン・オブ・ゴッド病院に手術室を建設するために資金を集めた。それに対して、LCIFは同額の五万九千八百四ドルを手術室の設備を整えるために、同クラブに交付した。

健康関連の交付金は、医療費の増加とより大きな障害に地域社会が取り組んでいることを反映して、近年急激に増加している。二〇〇二年度にLCIFが承認した健康関連の交付金は六十五件、三百六十万ドルに上った。交付金の多くはクリニックや病院の設備や施設を改善するために使われた。どの交付金にも共通している特徴は、大勢の人々の生活を改善し、ほかでは出来ないような医療のすき間を埋めるところにある。

LCIF交付金によってライオンズは地域社会のニーズにこたえ、健康と治療を切実に必要としている人々にその機会を提供している。

ルーマニア・ブカレストのフロリアスカ救急病院の医師たちは、心臓病患者（主に子ども）のために最善を尽くしていたが、旧式の医療機器のせいで診断能力にも差し障りが出ていた。LCIFとイタリア・ベルガモの五つのライオンズクラブが手を差し伸べ、カラードップラー法による心エコー検査機器の費用七万ドルを分担した。この精密な超音波装置によって、医師たちは正しい診断を下し、最高の治療を行うことが出来るようになった。

イギリス・デボン州東部の七つのライオンズクラブは、LCIFと協力して、王立デボン・アンド・エクセター病院に新しく出来た血液科の六つの隔離病室のうち一つの備品整備のために、二万三千六百ドルを寄贈した。これによって病床数が八つだった古い病棟に代わり、十六床の新しい施設が建てられた。新病棟は年間千百人が利用すると予想されている。イギリスでは、生命を脅かす白血病が急速に増加しており、そのほとんどがデボン地方に集まっているという。

ライオンズは地域のニーズにこたえることを誇りにしている。イギリスでの事業にかかわったジョン・クック前地区ガバナーは話す。「これこそ、コミュニティーのために尽くし、私たちのモットーである『奉仕』を実践する、ライオニズムにほかならないと思います」。

春季ソウル国際理事会報告

四月十三日に東京・日本橋の日本ライオンズ連絡事務所で第六回複合地区ガバナー協議会議長連絡会議が開催され、亀井良次、大久保彦両国際理事と秦三郎アポインティーから、ソウルで開かれた春季国際理事会での審議事項について報告があった。主な事項は以下の通り。▼デトロイト／ウィンザー国際大会で二国間の移動は国境警備が厳しく、必要書類を紛失しないよう注意が必要▼女性の入会金及びチャーター費免除プログラムが今年六月三十日をもって終了▼〇四年度地区ガバナーはＬＣＩＦ理事会の理事（投票権なし）となる▼日本からのＬＣＩＦ交付金申請の承認（別掲）▼ガバナー協議会議長に関する理事会方針（別掲）▼〇四年七月を期限に十人未満のクラブのチャーターを取り消すという前年度国際理事会の決定は保留

春季国際理事会で承認された日本へのＬＣＩＦ交付金

春季国際理事会で承認されたＬＣＩＦ一般交付金は、五十四件二五五万六、二七一ドル。日本から申請されていた十件（総額三一万六、

Focus on Leos

■長崎県・波佐見レオクラブ

地域社会で形に残るアクティビティを

波佐見町は、長崎県の中央北部、ちょうど佐賀県との県境に位置する人口約一万五千人ののどかな町である。陶磁器の生産・販売が盛んで、和食器の出荷額は県下では最大、全国三位の実績を誇る。「波佐見焼」は一五九九年（慶長四年）に朝鮮から伝えられたと言われており、この地に焼きものが伝わった黎明期を語る上で重要な史跡がいくつも残されている。

二〇〇〇年八月二十七日に結成された波佐見レオクラブは、社会人ばかり六人のメンバーで出発。会員は少ないながらも清掃や募金活動に取り組んできた。二年前、「何か形に残るもので、地域の人々の役に立つアクティビティはないか」と模索し、いろいろと調査を進める中で、町内に点在する窯跡に着目。そこに訪れる人たちのために案内版を作ろうということになった。いくつか候補地が挙がったが、実際に自分たちで史跡を見て回り、最終的には国指定史跡で知名度が比較的高いものの、地理的に分かりにくい場所にある「畑の原窯跡」に決めた。波佐見町では年に一度、四月末から五月初旬にかけて「波佐見陶器まつり」が開催され、全国から延べ二十五万人もの観光客が訪れる。そのため、案内板設置のニーズは高く、波佐見町教育委員会の文化財担当者に打診したところ「ぜひ設置してほしい」という回答だった。早速、町の建築課と設置場所を検討。地主を訪ねて許可をもらった上で町から正式な許可を受け、十二月十四日に設置した。

案内板は波佐見ライオンズクラブで看板業を営むメンバーに相談し、設計と製作を依頼。設置作業はすべてレオが行った。地面に穴を空けて看板を差し込み、石（グリ）を打ち込み、セメントを流し込む作業は完了。地面と平衡に立っているかを調整するのに苦労したという。作業に携わったレオの一人は、次のように話す。

「思った以上に目立つ看板だったので、多くの人に迷わず畑の原窯跡に足を運んでもらうことが出来そうです。地元のために役に立てたことに充実感を覚えました」

また毎月一度、「ゴミ一つない街づくり！」をスローガンに早朝の町内清掃を行ったり、河川公園にはあじさいの苗三百本を植樹した。スポンサー・クラブの活動に参加する機会も多い。甲辰園グラウンドに植樹してあるツツジの剪定や除草作業への参加や、焼きもの公園で開催された犬の評議会（ドッグショー）に波佐見ライオンズクラブが出店したバザーの手伝いなどがある。レオたちはうどんやカレーの販売などを手伝い、大いに活躍したようだ。

今後はレオ全員で手話を勉強して、さまざまな活動に生かしていきたいという抱負もあり、フレッシュで活発な活動が期待出来そうだ。

結成当時は六人だった会員数は現在は十人に増えている。しかし、課題もある。メンバーは全員が社会人で、例会やアクティビティの時間を合わせるのが難しい。今後はアルファ会員を増やすことで、活発な活動を続けていきたいと考えている。

六三八ドル）はすべて承認された。日本への交付金は以下の通り。▼330－A＝障害者ホームに輸送車購入一万一、二五〇ドル▼330－B＝カンボジアに飲料水用井戸掘削七万二、〇〇〇ドル▼332－D＝スリランカ赤十字に血液輸送車購入二万五一四ドル▼333－B＝カンボジア・シエム・リープ州で小学校建設一万五、六七三ドル▼335－A＝職業訓練プログラム整備一万三、三三三ドル▼335－D＝ミャンマーで小学校建設三万三、二五〇ドル▼337－A＝盲導犬訓練センター建設七万五、〇〇〇ドル▼337－B＝カンボジア・カンポンチャン州で小学校建設一万八、六一八ドル▼337－C＝カンボジア・プノンペンで小学校整備及び建設四万二、〇〇〇ドル▼337－D＝聴覚障害者のための電光表示機購入一万五、〇〇〇ドル。

○五年度からガバナー協議会議長は前・元地区ガバナーに

二〇〇五年七月一日以降、複合地区ガバナー協議会議長には前・元地区ガバナーが選出あるいは選任されることになる。春季国際理事会で審議され、国際理事会方針書の規定を改定することが決まった。現在、日本では八複合地区すべてで地区ガバナーが議長を兼任しているが、〇五年度からはこれが出来なくなる。国際的に見ると前・元地区ガバナーが議長を務めるのが主流で、現役の地区ガバナーが議長を務めている複合地区は、日本の八複合地区のほか、アメリカの七つの複合地区と韓国の354、355複合地区で、合わせて十七の複合地区だけ。なお、次年度は従来通り地区ガバナーが議長を兼ねることが出来る。

六月一日は「ヘレン・ケラー・デー」

一八八〇年六月二十七日にアメリカ・アラバマ州に生まれたヘレン・ケラーは、生後十八カ月で熱病にかかり、視力と聴力を失った。彼女が家庭教師サリバン先生に導かれて言葉を発するまでの経緯は、舞台や映画に再現され、多くの人に感動を与えてきた。一九二五年六月三十日には、国際大会でライオンズに「盲人のために暗闇と戦う騎士」になるよう訴え、協会の進路に多大な影響を与えた。その生涯を通じた奉仕活動に対し、六一年にライオンズ人道主義大賞が贈られている。国際理事会は七一年に、ヘレンの命日である六月一日を「ヘレン・ケラーの日」とすることを宣言し、視力関連の奉仕事業を奨励している。

災害義援金最終報告

昨年夏、特に甚大な被害をもたらした三件の自然災害に対して、全日本ライオンズから集められた義援金について、それぞれの被災地で救援事業を展開した地区から、完了した事業の最終報告書が提出された。概要は左記の通り。

■宮城県北東部連続地震（332‐C地区）

○三年七月二十八日に宮城県北東部を襲った連続地震に対する義援金は一、四三三万三、二六六円。これに複合地区緊急援助資金四〇〇万円、地区緊急援助資金五〇〇万円、LCIF緊急援助金一一九万一、五〇〇円を合わせた支援金合計二、四五二万四、七六七円の使途は、以下の通り。▼支援物資購入費一、六〇二万四、七六七円▼被災した五町の小学生を対象に精神的ケアを行うための物資購入に贈呈した費用計八五〇万円

■台風十号日高周辺豪雨災害（331‐C地区）

○三年八月九日に北海道・日高地方を襲った台風十号に対する義援金は、一、四五四万九、七二二円。LCIF緊急援助金一一六万六、五〇〇円と合わせた支援金は合計一、五七一万六、二二二円の使途は、以下の通り。▼被災地域で支援活動を行う五クラブ（門別町、新冠町、鵡

会議録　4月

主な議題だけをまとめました

日本ライオンズ連絡事務所管理委員会

第五回日本ライオンズ連絡事務所管理委員会は四月九日、東京・日本橋の日本ライオンズ連絡事務所で開催され、①法律顧問の委嘱、②職員人事、③旅費規程の改定、④連絡事務所のスペースと資料の検討、⑤パレスホテル事務所ビルへ移転の可能性、⑥報告・確認事項について協議した。

①は法律顧問は佐久間保夫弁護士（東京本郷クラブ）が継続。会計顧問は岩村譲一公認会計士（東京新都心クラブ）勇退後、東京のメンバーから探すことを条件に池崎委員に一任。

⑤は事務所移転を検討する中で、パレスホテルが候補に挙がった。調査と交渉を継続。ライオン誌日本語版事務所に申し入れ共用の可能性も考慮する。

⑥は個人情報保護の観点から、二〇〇四・〇五年度から四役リストに個人の住所を記載せず、複合地区及び地区事務局を通じて連絡を行うことを了承。

複合地区ガバナー協議会議長連絡会議

第六回複合地区ガバナー協議会議長連絡会議は四月十三日、東京・日本橋の日本ライオンズ連絡事務所で開催され、①国際役員からの報告、②LCIF関連報告、③各委員長連絡会議の報告、④国内義援金関係報告、⑤マニラ・フォーラム第一回ステアリング委員会報告について協議した。

④は昨年七月の宮城県北部地震災害について332・C地区から、八月の台風十号日高周辺豪雨災害について331・C地区から、十一月の十勝沖地震災害について331・B地区から義援金の収支報告が提出され、了承された。

複合地区国際大会委員長連絡会議

第五回複合地区国際大会委員長連絡会議は四月十五日、東京・日本橋の日本ライオンズ連絡事務所で開催され、Ⅰ第八十七回デトロイト・ウィンザー国際大会①現地最新情報、②大会登録手続き、③日本に割り当てられたホテルの配分、④現地交通事情、⑤地区ガバナー・エレクト・セミナー関係、⑥代議員バッジ、⑦インターナショナル・パレード参加、⑧全日本ライオンズ代議員会・国際大会記念夕食会、Ⅱ第四十三回東洋・東南アジア・フォーラム（マニラ）について協議した。

④は主要ホテルと各会場間の無料シャトルバスが運行される。ルートの決定は開催一カ月前ごろ。

⑥は既に申請のある複合地区には近日中にバッジを配布。

⑦はパレード・ルート、パレード協力員、ユニホーム、交換ピンの頒布注文状況について。

⑧は七月七日十八時半からアシニュウム・ホテルにて。登録料一万円。

Ⅱはフォーラム期間中に開催される各セミナーには各地区最低四人の参加者を要請。

ライオン誌日本語版委員会

第十回ライオン誌日本語版委員会は四月二十一日、東京・築地のライオン誌日本語版事務所で開催され、①五月号（四月二十日発行／十三万二千部）出来、②六月号以降台割と主要記事予定、③国際協会ウェブサイトの今後の対応④国際協会『ライオン誌』購読料値上げ、⑤クジアク国際第一副会長来日、⑥『ライオン誌』発送、⑦『ウィ・サーブ　日本ライオンズ半世紀の航跡』増刷、⑧「国際理事立候補者推薦手続規則」変更の申入書、⑨日本ライオンズ連絡事務所移転案に伴う本事務所移転について協議した。

②は今後のTHEMEとして六月号「アイバンク運動」、七月号「ノーマライゼーション（障害者自立支援）」、八月号「国際大会」を予定。

⑨は当事務所は移転しないことで意見が一致。

川町、静内町、厚真町）への義援金合計一、一四五万三、五九四円▼被災四町への義援金合計三八一万九、八四九円▼その他経費合計四四万二、七七九円

■十勝沖地震（331－B地区）

〇三年九月二十七日に発生した十勝沖地震に対する義援金は一、二〇六万八二七円。使途は以下の通り。▼331－B地区内の配分金、被害を受けた地区内の十四自治体への義援金合計一、一九一万一、三六一円▼その他経費合計一四万九、四六六円

第五回LCIFクルーズはメキシカン・リビエラへ

第五回目を迎えるLCIFクルーズの舞台となるのは、エーゲ海の宝石リビエラに例えられるメキシカン・リビエラ。十一月六日にアメリカ・ロサンゼルスを出港し、八日間にわたりメキシコ太平洋沿岸のリゾート・エリアを巡る。クルーズ船はこの春に処女航海を終えた新造船ダイヤモンド・プリンセス号。ホスト役は〇四年度LCIF理事長となるテーサップ・リー国際会長夫妻が務める。

寄港地はエリザベス・テーラー主演の映画「イグアナの夜」のロケ地プエルトバジャルタ、スペイン統治時代の街並みが残るマサトラン、岩礁の名所カボサンルーカス。現地では地元ライオンズが手厚い歓迎の準備を整えている。クルーズ料金は七百九十四～千二百七十四ドルで、キャビン一室につき千ドルのMJF献金が必要となる。詳しい情報は、国際協会ウェブサイト（http://www.lionsclubs.org/JA/content/lions_lcif_cruise2004.shtml）で入手出来る。なお、ケイ・K・フクシマ理事長がホストを務めた前回のLCIFクルーズの模様は、四月号「獅子吼」（46ページ）掲載の参加記に詳しい。

昨年11月の第4回クルーズの舞台は南カリブ海
写真提供／ライオン大工園隆（京都イースト）

新結成／解散クラブ

■新クラブ結成

山口県・宇部ハーモニー▼結成順位／三五三七▼二月二十三日結成▼清水小夜子会長▼事務局／宇部市松島町一一－一八　Uビル三階（〒755－0042）TEL〇八三六－三五－六八七七▼スポンサー／宇部

山梨県・甲斐武田▼結成順位／三五三八▼三月二十四日結成▼佐野淳会長▼事務局／甲府市酒折一－五－一五　小野俊夫様方（〒400－0805）TEL〇五五－二三七－五〇四〇▼スポンサー／甲府東

愛知県・名古屋ブルースカイ▼結成順位／三五三九▼三月二十四日結成▼赤見坂昭男会長▼事務局／名古屋市緑区鳴子町四－一六　グリーンハイツ鳴子一階（〒458－0041）TEL〇五二－八九二－三〇六六▼スポンサー／名古屋ウエスト

愛知ウエスト▼結成順位／三五四〇▼三月三十日結成▼土本隆晴会長▼事務局／一宮市栄四－二－一（〒491－0858）TEL〇五八六－七一－〇三〇三▼スポンサー／一宮

■解散クラブ

神奈川県・横浜エメラルド

訃報（元国際役員）

ライオン荒巻逸夫（大分ライオンズクラブ）

四月十三日死去、95歳。五九年入会。六六年度302W－7地区ガバナー。

ライオン加藤俊助（静岡県・浜松ライオンズクラブ）

四月十六日死去、89歳。六二年入会。八六年度334－C地区ガバナー。

ライオンズのための分かりやすいＩＴ講座

第六回　あなたのパソコンは狙われている

■文／砂山幹博

これまでインターネットがコミュニケーションの手段として非常に便利であることを紹介してきた。が、便利な一方で、インターネットに接続した瞬間、さまざまな危険に遭遇する可能性があることも知っておきたい。今回はインターネットのセキュリティーについてのお話。

「我関せず」ではすまない

最初に覚えておいてほしいのは、インターネットの世界では、自分で気付かないうちに加害者となっていることがあるということだ。一度は耳にしたことがあるかと思うが、コンピューター・ウイルスによる被害はその代表的な例だろう。コンピューター・ウイルスとは、利用者が意図しない結果をコンピューターにもたらす不正プログラムのことで、その振る舞いが、実際のウイルスにそっくりなことからこう呼ばれる。

パソコンがウイルスに感染すると、他のファイルに感染が広がるほか、複製を繰り返して増えたり、ある条件を満たすと不正プログラムとして作動したりする。作動したプログラムは時には、大切なデータを消去してしまうだけでなく、システムを破壊したり、勝手に不正プログラムが付いた電子メールを友人や取引先に送るなど、周囲に被害を広げていく。

かつてウイルスの侵入ルートは、フロッピーやMOなどの媒体を介してというのがほとんどだった。が、インターネットに常時接続する人が急増している今日では、ウェブサイトからダウンロードしたプログラムであったり、電子メールの添付書類からウイルスの被害が広がるケースが多くなっている。そのため、悪意のある不正プログラムが、短期間で広く伝播しやすくなっている。

添付ファイルには要注意

あるレポートによると、不正プログラムを受け取る感染経路の約九割が電子メールだという。電子メールについてこのコーナーで触れるのは今回が初めてだが、一度は使ったことのあるものとして話を進める。

ウイルスに感染したメールは注意すれば、一〇〇パーセントではないが、ある程度は防ぐことが可能だ。以下に怪しいメールの例を列記してみた。

●添付ファイル

電子メールにはデータファイルを添付して送信出来る便利な機能が付いているが、この添付機能を通じてウイルス感染が繰り返されている。添付されてきたファイルの中には、先月号で説明した「.exe」などの拡張子が付いたものもあるかと思うが、この拡張子付きファイルこそはウイルスの可能性大である。「.txt」のテキスト文書や「.jpg」などの画像ファイルなどお馴染みの拡張子でも、偽装されている場合もあるので、安全を期するならすべての添付ファイルを疑うべきだ。

●送信者

知らない人物からのメールや送信者不明のメールは、言うまでもなく怪しいので要注意。

●件名

件名が文字化けしていたり、送信者が日本人なのに件名が英語だったりする場合も注意が必要。とはいえ、日本語の件名で送信されるウイルス

シマンテック社

メールも存在する。

少し慣れれば、たいていのウイルスメールには気が付くものだが、最近は巧妙なものも増えている。外見からは通常のファイルと区別のつけようがないので、確実に正体の知れている添付ファイル以外は開かないようにしたい。

もし、どうしても気になるのであれば、添付ファイルを逐一「アンチウイルス・ソフト」でチェックしてみることをお勧めする。これは、不正プログラムをコンピューターから排除してくれるもので、被害を未然に防ぐ有効な手段だ。ウェブで「アンチウイルス・ソフト」と入力して検索すれば、有償無償のさまざまなソフトを入手出来る。

自衛策を講じよう

駆け足でウイルスによる被害と予防策について説明してきたが、インターネットを利用する上で遭遇しうるトラブルや被害は、それだけではない。パソコンから情報が第三者の手によって不正に持ち出され、プライバシーを暴露されたり、追い回されたりするという「ネット・ストーカー」の被害も増えている。一度ネットワーク上に流れた情報は、自分の手でコントロールすることが出来ないだけに、インターネットを利用するにあたっては、コンピューターに保存する情報の管理や開示に、一層の注意が必要になる。

今後、インターネットを使う人が増えるにつれ、トラブルや被害も増えていくだろう。これに対抗するには被害についての正しい情報を得ることが強力な武器になる。情報は、シマンテック社やトレンド・マイクロ社などで入手出来るので、常にチェックしておきたい。きちんとした自衛策を講じておけば、セキュリティーの向上も図れるというものだ。

トレンド・マイクロ社（http://www.trendmicro.com/jp/home/enterprise.htm）

IT虎の穴

明日のためにその六

イラスト：藤英毅

こんにちは、瞳です。(*^_^*)

先月に引き続き福島さんの勘違いについてお話しします。

メールはアウトルックエクスプレス、ホームページの閲覧にはインターネットエクスプローラーというのは、前月号の通りです。アウトルックエクスプレスは、メールを送受信するプログラムで、一般的なパソコンには最初から入っています。こんなマークがパソコンにあると思います。ホーページの閲覧に使われるブラウザーと呼ばれるソフトは、インターネットエクスプローラーが一般的です。

どちらもマイクロソフト社の製品で、多くの人に使われています。メールはメールアドレスという世界に一つだけしかない住所のようなもので、アドレスには@マーク（アットマーク）の前はたいてい自分の希望の文字が選べ、また@マークの後はドメインと呼ばれています。一方、ホームページはURLと呼ばれる文字列で、その多くはhttpの後にwwwで始まることが多いようです。このアドレスも世界中に1個しかないので、入力する時は一字一句間違わないようにする必要があります。もし、郵便であれば郵政公社の方が間違いを見つけて郵便番号の違いや住所の書き違いであれば、なんとか探してくれますが、インターネットはすべて機械が自動的に判別するので、十分に注意が大切です。

こんな話を福島さんにお教えした何日か後に、福島さんからお礼の電話がありました。実は札幌にいるお孫さんの誕生日が近づいてきたのでプレゼントをインターネットを使いお送りになるつもりだったそうです。お孫さんの大好きな熊のぬいぐるみをホームページで見つけて、その問い合わせをして誕生日に間に合うように送ることが出来たと大喜びをされていました。遠く離れたお孫さんも、きっと喜ばれるでしょうね。

では、また次号でお目にかかりましょう。(^.^)/~

■ここに登場する人物または団体はすべて架空のものです。ヽ(￣ε￣)ノ

CLUB REPORT クラブ・リポート

●この欄ではライオンズクラブ、レオクラブ、ライオネスクラブの活動報告を扱います。詳しい投稿要領は56ページをご覧ください。

大阪府・八尾ライオンズクラブ

みんなで考えよう「水と暮らし」

八尾ライオンズクラブ（菅春水会長／96人）ではこれまで、地域の中に入り、より良い議論の場を提供し、子どもたちや地域と連携して、積極的な市民パワーの結集を図る施策を企画してきました。本年、大和川付け替え三百周年記念を迎えるにあたり、記念事業として「いきいき八尾環境フェスティバル二〇〇四」を開催。八尾市内の小中学生及び父兄を対象に、水の大切さ及び自然環境保全の重要性を再認識して頂き、青少年の「心のバランス」を取り戻してもらおうと考えました。

市内小中学生四団体による環境への取り組みを大型スクリーンを使用して発表したほか、NHKの番組による環境劇を開催し、子どもたちの環境への関心を高めました。また、市内小中学生や環境保護団体・行政関係二十団体による研究成果のパネル展示会も実施しました。展示会ではクイズを行い、正解者十人に記念品（エコマネー）を進呈しました。

今回、千三百人の募集に対して六千人を超える応募があり、数日で定員に達するほどの大盛況。市民、行政、ライオンズが一緒になって、自然環境保全の重要性と意識の高揚に資すると同時に、青少年の環境教育に大きく寄与することが出来たと思います。（情報委員長／山⊠正徳）

（編）「人と自然のパートナーシップ」。環境改善活動を通じてそれを取り戻すのが、地域において今最も重要なことだと八尾ライオンズクラブは考えています。今回のフェスティバルで市民の理解を深めました。

連絡先↓TEL〇七二九・二二・三七六七

岐阜県・池田神戸ライオンズクラブ

中学校へ風力・太陽光発電装置寄贈

池田神戸ライオンズクラブ（稲浪義彦会長／55人）は池田中学校と神戸中学校に風力・太陽光ハイブリッド発電装置を寄贈、二月二十七日、神戸中学校で贈呈式を開いた。

同クラブ結成三十五周年を記念した事業の一環。未来を担う子どもたちに環境問題に関心を持ってもらいたいと、両校に一基ずつ設置した。

発電装置は、太陽光パネルと風力発電のためのプロペラ、屋外照明が一体となっており、作られた電力を表示板で見ることが出来る。

贈呈式には稲浪会長と宮川陳博結成三十五周年記念実行委員長、生徒会の生徒らが出席。稲浪会長が「環境問題を考える教材として役立ててください」と話し、生徒会長の若山智也君に発電装置の鍵を手渡した。

若山君は「環境問題に興味を持って取り組み、大切に使わせて頂きます」とお礼を述べた。

（『岐阜新聞』2月28日）

（編）中学生の知的好奇心を刺激し、青少年教育に寄与するために贈られた最先端の科学技術教材である発電装置。これを通じて、少しでも環境問題に興味を持ってもらいたいですね。

連絡先↓TEL〇五八五・四五・五二三一

東京成城ライオンズクラブ

世界遺産を訪ねる旅

東京成城ライオンズクラブ（細川和会長／47人）のタウンウォッチング同好会（橋本光夫会長／27人）では、人類の貴重な財産である世界遺産を訪ね、文化、自然遺産への認識を高めると共にその保存、活用を考えようと、世界遺産の旅を続けている。

二〇〇一年には、東大寺や興福寺など古都奈良の寺院を見学。翌〇二年は、縄文杉など数千年の樹齢を経たスギが自生する屋久島（鹿児島県）、〇三年には、屋久島と共に世界自然遺産に登録されている白神山地（青森県、秋田県）を訪れた。

そして今年二月には中部地方の険しい山間に今でも伝えられる数百年前の民家建築、合掌造りの家が点在する白川郷（岐阜県）を訪ねた。

白川村役場では谷口尚村長らの歓迎を受け、合掌造りや村の観光行政などについて研修。橋本会長が世界遺産白川郷合掌造り保存財団に同好会からの募金を手渡した。村長らとの昼食懇談会の後、雪の白川郷を視察、重厚な日本民家を肌で感じると共に、地区住民と一体となった合掌集落保存の取り組みに感動した。

来年度は同好会発足五周年を迎えることから、ますます充実した「世界遺産の旅」を展開していく方針だ。

（タウンウォッチング同好会企画副委員長／藤山純一）

（編）同好会では旅の前に、クラブの例会に旅先の自治体関係者をゲストに招き講演してもらうなど、クラブ全体で世界遺産を学んでいます。

連絡先→TEL〇三・三五五二・九二〇一

イラスト／篠田和夫

北海道・石狩ライオンズクラブ

交通事故撲滅の「デイ・ライト」作戦

交通死亡事故全国ワースト・ワンという不名誉な記録を更新し続ける北海道。交通事故は一瞬の不注意により当事者や家族に大きな悲しみと苦悩を与えます。そこで石狩ライオンズクラブ（松島磯己会長／58人）は昨年、全国秋の交通安全運動に際し「デイ・ライト作戦」を宣言しました。

二〇〇二年の統計によると、道内の交通事故死者数は四百九十三人。昼夜別比較では夜間の二百四十七人（前年比一人増）に対し、昼間では二百四十六人（前年比二十四人減）。昼間の死亡事故が減少した要因の一つは「デイ・ライト運動」の効果だと言われています。特に加害事故の減少は著しく、昼間点灯によるドライバーの安全運転意識の高揚が成果に結び付いているのでしょう。

当クラブでも早速「デイ・ライト運動」への参加を決意。会員企業など、徐々に参加の輪を広げつつあります。

交通事故の撲滅を目標に、全ライオンズが力を合わせ更に大きな風となることを切に願うものであります。

（ＰＲ委員長／池端英昭）

（編）交通事故防止には、何よりも安全運転の意識が不可欠。「デイ・ライト運動」の効果がより一層上がることを期待します。

連絡先→TEL〇一三三・七四・三七八〇

大阪カトレア・ライオンズクラブ
結成5周年記念チャリティーコンサート

　大阪カトレア・ライオンズクラブ（中井京子会長／55人）は昨年十二月二十三日、盲学校、聾学校、養護学校、地域の中学校吹奏楽部の生徒を招待して「結成五周年記念チャリティーコンサート」を開催しました。コンサートの出演者は地域にゆかりのある若い女性たち。演奏曲目は皆さんよくご存じの「英雄ポロネーズ」「展覧会の絵」「アヴェ・マリア」など名曲ばかり。耳慣れた曲が力強くまた優雅に演奏されるのを初めて間近に見聴きした方々も多く、会場は快い緊張と感動でいっぱいになりました。

　コンサート終了後、「素晴らしい演奏ですっかり感動しました」「女性のライオンズクラブがあることを初めて知りました」「女性ライオンズの品格あるパワーに感心しました」などたくさんのご好評を頂きました。女性クラブを多くの方々に知って頂き、信望を高めるたいへん良い機会となりました。また、コンサートの成功に向かって一丸となって取り組んだ結果、クラブに一段と活気が出て結束が固くなったと思います。　（PR情報委員会／明石和子）

（編）節目の年に「何か形になるものをやりたい」とメンバー一同が一念発起。昨年五月の資金獲得に始まる今回のアクティビティは、千席の会場が満席になるほどの大盛況でした。収益は児童図書や地域奉仕、ユニセフ募金などに活用されました。

連絡先→TEL〇六・六七七四・七三〇〇

千葉県・館山ライオンズクラブ
思い出は40年、そして1000回記念例会

　一九六三年、千葉県下三番目のクラブとして結成された館山ライオンズクラブ。昨年、結成四十周年を迎え、年明けの新年第一例会が千回記念例会にあたり、感慨深く迎えることが出来ました。

　発足当時は、人格以外にも、一業種一人など厳密な審査があったことを覚えています。そんなわけで、世界でいちばん大きな奉仕団体の一員になれたことに誇りを抱いたものです。会員もすぐに六十数人に達し、更に増え続けましたので、私たちが親クラブとなり、次々と新しいクラブを誕生させました。

　館山ライオンズクラブから地区ガバナーが選出され大活躍されたことは私たちの誉れでもあります。今から十八年前、ライオン平井勇が333・C地区ガバナーに就任。キャビネット幹事に当クラブからライオン村松、副幹事に私が任命されました。キャビネットの忙しさを実感しましたが、地区ガバナーだったライオン平井のご苦労はそれはたいへんなものでした。県内のゾーンを訪問して回り、土日はほとんど公式訪問かキャビネット会議。普段も多忙で出張が多く、ご自身の会計事務所の仕事と両立されました。その超人的な姿に驚嘆し、故人となられた今でも、クラブの誇りとして敬愛されています。

　私も人生の半分をライオンズと共に健康で過ごせたことに感謝しています。四十周年千回記念例会を迎え、これからもメンバーと共にウィ・サーブに燃えて、元気に過ごしたいと念願しております。

（会員理事／上山立男）

（編）館山ライオンズクラブの継続事業、国の特別天然記念物・ヒカリ藻の発見保護活動は、国際的にも評価を受け、地域発展に大きく貢献しています。今後も更なる活躍を期待します。

連絡先→TEL〇四七〇・二二・三六〇七

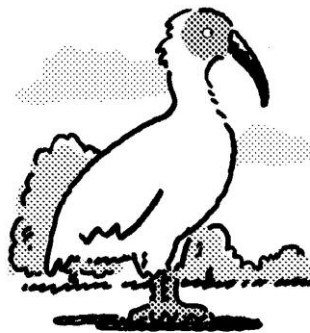
333-A地区第1リジョン

佐渡のトキ復帰活動に協力支援

333・A地区第1リジョンでは、リジョン内十四クラブの共同事業として、環境省の「トキ野生復帰事業」に協力しています。現在、佐渡トキ保護センターには三十九羽のトキが飼育されていますが、環境省では、三年で復帰訓練施設を整備し、四年後には佐渡島の山に放ち、二〇一五年には六十羽を定着させるそうです。

地元の佐渡ライオンズクラブでは、トキが再び佐渡の空を舞うようにと、さまざまなアクティビティを実施してきましたが、リジョン合同事業としても更なる支援活動を希望し、佐渡トキ保護センターの堀井道夫センター長に話を伺いました。

放鳥を控えていちばん困っていることは、餌場の問題だそうです。餌となるドジョウ、サワガニ、ヤマアカガエルや水生昆虫が生息するはずの山間地の棚田が減反政策で放置され、すっかり荒れ果てているのです。

そこで全国からボランティアを募集し、棚田復旧事業を始めたところ、

三年間に五千人もの参加がありました。泥田で雑草を刈り、畔の修復をするのですが、ここでまた大きな困難が発生。トイレがない。早速、簡易水洗トイレを三基贈呈し、たいへん喜ばれました。

トキ野生復帰事業にご協力頂けるクラブがございましたら、佐渡ライオンズクラブまで、お問い合わせください。TEL&FAX：〇二五九・五七・二四〇一　Eメール：lions@crux.ocn.ne.jp

（新潟ライオンズクラブ／今湊良敬）

（編）野生復帰には個体数を増やすだけでなく、環境整備もたいへんなのですね。野生のトキが空を舞う日が楽しみです。

高知りょうまライオンズクラブ

龍馬の心意気でウィ・サーブ

高知りょうまライオンズクラブ（横山博史会長／59人）は、誕生して今年で六年目の若いクラブです。人名を名称に持つクラブはあまりないようですが、その名前の通り、今全国的なブームとなって、人々に愛されている坂本龍馬の心を己が心に映したライオンの集まりです。

高知県では二〇〇三年十一月に高知空港が高知龍馬空港と改名したのを機に、県民一丸となって土佐のPRを始めました。空港と同じ名を持つ我がクラブも、もちろんこの運動に参加。先頭に立って地域のために活動しております。県内の主な観光・飲食などの施設利用時に、特別割引の付いた龍馬パスポートをお配りしています。その数一万五千人以上となり、多くの皆さんに喜んでもらっております。

高知県のもう一つの名物は夏の「よさこい祭り」。今では全国百カ所以上でそれぞれのよさこいが踊られています。「どうしても本場高知のよさこい祭りで踊りたい」という人々のために、我がクラブでは、全国の愛好者を受け入れる「連」を設けています。飛び入り結構、楽しみながら地域への協力と貢献が出来る「よさこい踊り」はいかがでしょう。全国のライオンたちの参加を歓迎します。昨年は七十人の連全員で龍馬のスタイルになって踊りました。「日本の国を洗濯いたし候」と言った龍馬の心意気で、身も心もリラックス出来るのか、一度踊った人は、来年も必ず来ますと大満足でした。

（PR委員長／竹崎誠）

（編）昨年は小学生からシニアまで、女性の龍馬も登場し、皆で仲良く踊って大成功だったようです。地域以外にも、新潟県、東京都、愛知県、大阪府、山口県から十八人の参加がありました。よさこい祭りは毎年八月九～十二日に開催。参加希望の方は、あらかじめクラブに連絡をしてください。

連絡先↓TEL〇八八・八二〇・五二〇六

新潟県・柏崎ライオンズクラブ

柿との触れ合いから考える

私たちは自然の恵みの中で生きている。良い環境は良い生活を与えてくれる。その自然環境の大切さを知ろうと、柏崎ライオンズクラブ（今井長司会長／58人）は柿との触れ合いに取り組みました。

柏崎柿協同組合から柿十本をリースし、指導を頂きながら初めての作業に取り組みました。春の摘果作業、三回の草刈りは苦しいながらも会員が共に汗を流して信頼の絆を育て、日に日に大きくなってゆく柿を見守り、秋、たわわに実った柿を見上げた時には感慨もひとしおでした。収穫は市民参加ということで、小中学生らと一緒に行いました。自然は大切にすればこたえてくれる。子どもたちにも環境の大切さを学んでほしいと思います。

収穫した柿は市のイベントで市民の協力を得て販売し、収益金は小学校児童のために防犯ブザーを三百個購入し、市教育委員会に寄贈しました。子どもたちが安全に通学し、勉学に励んでくれることを願っております。

（環境保全青少年指導YE／高橋満）

（編）市内小学校では貸し出し用のブザーが不足していることから、柏崎ライオンズクラブが寄贈したブザーは各校に分配され、有効に活用されています。

連絡先↓TEL〇二五七・二四・三五七五

たらい舟(新潟県小木町)

つつじが岡公園(群馬県館林市)

千手山公園(栃木県鹿沼市)

水郷(茨城県潮来町)

武家屋敷(千葉県佐倉市)

まるごと 333複合地区

ROAR ローア

中学生の心に大きな夢を育んだ、青少年サイパン研修事業。

新潟県・田上ライオンズクラブ

■取材／編集部

田上ライオンズクラブ（野澤幸司会長／34人）は今年度、二十周年の節目を迎えた。これを記念して、昨年五月二十五日から二十九日の日程で「サイパン研修事業」を実施。イラク戦争、ＳＡＲＳ流行と続いた昨春の不安定な世界情勢の中、困難な状況を乗り越えて実現させた。将来を託す青少年の心に夢を育もうと企画された四泊五日の研修は、派遣された中学生たちに貴重な経験を与えるものとなった。

古くからの信仰の山、護摩堂山から見渡すと、眼下には越後平野の豊かな田園風景が広がっている。新潟市と長岡市のほぼ中間に位置する田上町は、少し前までは農業が主な産業だったが、近年では新潟市のベッドタウンとなり、人口が増え続けている。田上はまた、湯の里でもある。護摩堂山中腹にある湯田上温泉は二百五十年あまりの歴史があり、修験者が身体を癒したのが始まりと伝えられる。地元では、土用の丑の日に浸かると一年間無病息災で過ごせる「薬師の湯」として親しまれているそうだ。

田上ライオンズクラブは一九八四年に結成され、今年度で二十周年を迎えた。昨年九月七日に開かれた記念式典には百七十人が集まり、和やかに祝宴が催された。その席上で、記念事業の模様を収めたビデオが上映されると、参加者から大きな拍手と共に称賛の声が上がった。

ライオンズ旗争奪少年野球大会や障害児学級の支援など、当初から青少年健全育成に取り組んできたクラブが記念事業に選んだのは、青少年サイパン研修であった。

従来の金銭や物を施すアクティビティから、心を育むアクティビティへの転換を図ろう。そんな観点から企画されたのが今回の記念事業だと、昨年度、二十周年記念事業委員長を務めた野澤幸司会長は言う。田上の将来を担う青少年を育て、夢を与えようと、サイパン研修への中学生派遣に決定した。派遣先をサイパンにした理由には、英語圏であること、新潟空港から直行便で結ばれている身近な外国であること、そして日本統治と激しい戦闘の舞台となった歴史を持つことなどがある。

研修は四泊五日の日程で、うち二泊は現地の家庭にホームステイした。派遣生の選考には、田上、羽生田の両小学校の六年生と、田上中学校一、二年生から、サイパン研修に参加したい理由を書いた作文を募集。クラブで選考を行い、男女四人ずつ八人の派遣生を決定した。春休み中の三月二十五日の出発に向け、家族説明会や現地の下見など準備は着々と進んでいったが、直前になって予期せぬ事態に見舞われた。昨年春、世界中を不穏な空気で包んだ、イラク戦争と急性肺炎ＳＡＲＳの流行である。

出発を目前にイラク戦争が開戦し、海外旅行の自粛ムードが広がる中、クラブは延期を決めた。不安とそれを大きく上回る期待を胸に、出発を心待ちにしていた派遣生たち

は、中止の報にがっくりと肩を落としたという。

その後、イラク戦争の終結宣言が出され、サイパンの安全情報も確認したが、今度はSARS流行が問題になった。サイパン側では日本をSARS感染地域と見なしていたため、日本側の安全も証明しなければならない事態になった。そうした数々の問題を克服し、研修日程は五月二十五日から二十九日と決定。学期途中ではあったが、田上中学校の校長はサイパン研修を校外講習とすることを認めた。田上町教育委員会では以前から子どもたちの海外研修を模索しており、それを先取りした形の田上ライオンズの事業に対して、高い期待が寄せられていた。

研修中は、ホスト家庭の中学生が通うカグマン中学校への体験入学やサイパンの歴史、文化、平和学習など、さまざまな経験をした。研修を引率した野澤会長は、中でも日本軍のサイパン玉砕の歴史を、子どもたちに伝えたかったと言う。以下に挙げた感想文（一部抜粋）から分かるように、派遣生たちは多くのことを学んだ。田上ライオンズが播いた種は、やがて大きな果実を実らせるに違いない。

「サイパン島で学んだことでいちばん印象深いのは戦争に関すること。人が本当に飛び降りた崖や火炎放射器の跡など、人々はなんてむごいことをしていたんだろうって思いました」（一年／湧井奈津子）

「サイパンへ行ってたくさん良い思い出も出来たし、いろいろな楽しい体験も出来ました。バンザイ岬など、あまり思い出したくないような所もありました。でもサイパンでの戦争の話など、とても勉強になったし、『もうこんなことは起きてほしくない！』と思いました」（一年／佐藤亜美）

「ホスト・ファミリーと過ごした時間は、一生忘れることの出来ない思い出となりそうです。初めて会った僕たちに、一家はとてもやさしく接してくれました。英語があまり話せない僕たちに分かるまで説明してくれました。いつかホスト・ファミリーを日本に招待したいと思っています」（二年／熊倉達也）

「言葉につまることもありましたが、気持ちで通じ合えることが出来るということが分かりました。学校では日本と違う校風に驚きました。いつの間にか授業が始まり、いつの間にか休み時間になっていて、給食もとらない生徒もいて、すごく自由な学校だなあと思いました。この体験を通して、もっとたくさんの知識や英語を身につけたいと思いました」（三年／遠間彩加）

環境問題に大きな教訓を残す町で、植樹に取り組むライオンズ。

栃木県・足尾ライオンズクラブ

■取材／編集部

足尾町は町域のほとんどが山林で、一部は日光国立公園に含まれる。本来ならば自然豊かな町のはずだが、「足尾」と言えば、だれもが日本で最初の公害と言われる足尾鉱毒事件を引き起こした足尾銅山を連想する。精錬所の煙が流れ込んだ渓谷は、今も荒涼として被害の深刻さを物語る。足尾は環境問題、緑化運動の象徴的な存在であり、足尾ライオンズクラブ（齊藤重二会長／20人）も植樹をメーン・アクティビティに据えている。

「足尾に、最もふさわしい事業を」。一九九〇年に結成された足尾ライオンズクラブは、結成間もないころからクラブのメーン・アクティビティとして植樹に取り組んできた。毎年春、スポンサーの日光ライオンズクラブも参加する合同アクティビティとして実施している。十二回目を迎えた今年は、四月十一日、備前楯山への登山道入り口にある舟石峠の駐車場に植樹。好天に恵まれて汗ばむ陽気の中、造園業のメンバーらの協力を得ながら、サクラとツツジ、カエデを植えた。備前楯山は、足尾銅山の採掘が行われた山だ。備前出身の農民二人が銅鉱脈の露頭（楯）を発見したことから名付けられたという。

足尾町は日光市に隣接し、日光国立公園、前日光県立自然公園に指定されている千～二千メートル級の山々に囲まれている。足尾町の歴史は、そのまま足尾銅山の歴史と重なる。

一六一〇年に備前楯山で銅の鉱脈が発見されると、幕府直轄の銅山となり、採掘された銅は、江戸城の屋根や銅銭「寛永通宝」などに使われた。明治に入って一時は廃山同然となったが、一八七七年に実業家の古河市兵衛が経営に乗り出して、近代的な技術と設備を導入。大規模な採掘、精錬によって足尾銅山は急激に発展していった。一八八四年には国内産銅量の四〇パーセントという日本一の産出量を誇り、その後も長く日本の近代化に貢献した。現在、町の人口は三千五百人ほどだが、足尾銅山の最盛期にはこの山中に四万人もの人々が住んでいたという。銅山の隆盛で町には活気があふれた。

しかし繁栄の陰で、甚大な環境被害が引き起こされることにもなった。銅山周辺の山林は精錬のために伐採され、精錬所は亜塩酸ガスを含む煙を排出。それにより木々が枯れ果て、表土までもが流出した。森の保水力が失われたことで頻繁に洪水が起き、渡良瀬川下流に深刻な鉱毒被害をもたらした。田中正造が明治天皇への直訴を企てたことで有名な足尾鉱毒事件である。精錬所による煙害は、一九五六年（昭和三十一年）にガスを排出しない自熔精錬法が導入されるまで続いた。

ちょうどそれと同じ時期に、国は足尾の緑化、治山事業に取り組み始めた。しかし、荒廃しきった山々に緑を蘇らせるのは、たいへんな困難を

約100年前に足尾銅山の迎賓館として建てられた古河掛水倶楽部。現在は一般にも公開されており、足尾ライオンズクラブでは特別例会などの会場に利用することもある

伴う仕事だ。木を植えようにも土がない。まずは土を作るために、山腹に土留めを並べ、土と肥料、草の種を混ぜて固形にした植生盤を敷く工法がとられた。人が入り込めない斜面には、ヘリコプターによる空中散布も行われた。草が生えると、成長が早い落葉樹を植え、やがては針葉樹に移行していく。本来の山の姿を取り戻すには、長い時間とたくさんの労力を要する。近年では多くの団体が足尾での植樹活動に取り組み、全国から大勢のボランティアが参加している。

　足尾町の中心地から渡良瀬川を遡っていくと、途中で山の風景ががらりと変わる。閉山から三十年近くを経て廃墟となった精錬所の周辺から上流に向かって、赤茶けた山肌や、草地や、苗木が整然と並ぶ植林地が、斜面に継ぎはぎされたように見える。

「この辺りから上流には木一本どころか、本当に草一本生えていなかった」。足尾に生まれ育ち、一昨年まで四期にわたり足尾町長を務めた齊藤重二会長は言う。初めて訪れた者には、荒涼とした風景に見えるが、かつて足尾に住んだ人は、緑が増えた現在の山の姿に驚くのだそうだ。

　少しずつではあるが緑化が進んでいることで、新たな問題も生まれた。サルやカモシカが増加し、その食害が広がっているのだという。足尾ライオンズクラブが植樹した苗木も、防護ネットで厳重に囲われている。数々の困難を乗り越えながら、緑化の努力が続いているのだ。

　精錬所から更に上流に進むと、特に被害の大きかった松木渓谷がある。かつては渡良瀬川源流の豊かな森が広がっていたのだろう。今は岩盤が露出し荒涼とした景色が広がり、「日本のグランドキャニオン」とも呼ばれている。

　齊藤会長は言う。「日本の繁栄に貢献した産業の負の遺産である環境破壊と、人間の手による自然の再生を、次世代への教訓としたい」。

↑↓写真提供／足立廣文（栃木県・日光ライオンズクラブ）

海を越えてブラジルへ出前講談実施

千葉花見川

遠くブラジルに住む日系のご老人方が講談を聞きたいと言っている。ブラジルの日伯文化交流協会から情報が入り、千葉花見川ライオンズクラブは協力を申し出た。クラブからは会員で元NTT社員の講談師・ライオン鈴木春夫（梅脚）を始めとする六人、講談協会から出演者四人の一行が一月七日、ブラジルに向けて飛び立った。

サンパウロのブラジル日本文化協会記念大講堂での公演に集まった観客は八百人。ライオン鈴木は一番手を務め、織田信長の家臣、山内一豊が妻千代の助けで二十四万石の大名に出世する「山内一豊の妻」を熱演。続いて長嶺梅金愚による「水戸黄門漫遊紀」、渥美右桜左桜の「床下の物知りお婆々」、渥美矢梅の「八丈島物語」が披露され、日系人らは笑い、時に涙を浮かべて話芸に聞き入った。

当初一回のみの公演を予定していたが、お年寄りたちの泣いて喜ぶ姿と熱心な要望に感激、リオデジャネイロとグアルリョースで追加公演が行なわれた。ライオンズ・メンバーらは移動と会場の設営に加え、現地の交流協会役員の多くがライオンだったことからたいへんな歓迎を受け、多忙を極めた。

二〇〇〇年五月に結成された千葉花見川ライオンズクラブは、労力アクティビティを主体にした会費月五千円のクラブ。今回の渡航費は自腹。それでも人に喜びを与え、感謝されてこそのアクティビティ。おつりが来るほど大きな成果を収めた活動となった。

情報／岡野正義（元地区ガバナー）

日本の歌に乗って広がれ アイバンク運動

群馬県・前橋中央

一月三十一日、群馬県民会館大ホールで前橋中央ライオンズクラブ主催の「明治大学マンドリンOB倶楽部チャリティー・コンサート」が開催された。十年前に古賀政男生誕九十年を記念して、古賀メロディを中心に据えたコンサートをスタートさせてから今回で五回目、今年は生誕百年を迎えた。前橋市内のライオンズ

Close up クローズアップ

健康への願いと海洋深層水「マハロ」

恩田利平太（新潟県・見附嵐南）

「やすらぎの里　夢描庵」の庵主ライオン恩田利平太は、この庵を元気回復の拠点に、各地で健康にまつわる講演活動を行っている。幼いころから草花の生命に惹かれていたと言うライオン恩田。花屋になりたいと農業高校に学んでいた十七歳の時、落下事故で大けがを負った。長く辛い治療の日々が続いたが、東洋的な健康法との出合いをきっかけに回復し、以来、ヨガや呼吸法など、自然治癒力を高める方法を実践してきた。

そうした経験を通じて到達した健康法は、体を温めて血液の循環を良くすること、腸をキレイにすること、いい水を飲むこと。今、注目しているのがハワイ島・コナ沖の海洋深層水だ。海洋深層水はミネラルを豊富に含み、有機物や細菌類が存在しない清浄な水。免疫力を高めたり、血中のコレストロールを下げるなどの研究結果も発表されている。水深数千メートルの海底には、海水が二千年の年月をかけて地球規模で循環する「海洋大循環」という現象がある。その海洋深層水が表層に上昇する地点がハワイ・コナ沖で、その水は人間の体に近いミネラル・バランスを持つのだという。ハワイ語で「ありがとう」を意味する「マハロ」と名付けられた水に、ライオン恩田は健康への願いを託す。　取材／編集部

■ライオン恩田から読者プレゼントがあります（64ページ）。

ほか、多くのバックアップもあり、毎回二千席が満席になる盛況ぶりだ。

チャリティーの趣旨はアイバンク支援。収益金が群馬県アイバンク基金に贈られるわけだが、コンサートを通じての啓蒙活動にも力を入れている。プログラムにはあいさつのすぐ後に、角膜移植やアイバンクについて図解入りの紹介文が見開きで刷られ、献眼登録申し込みハガキも折り込まれている。コンサートに先立って、受眼者ご本人による、光が見えた時の感動を交えたあいさつと登録の呼び掛けがある。こうした明確な目的の提示が集客力と多くの協賛を得ることにもつながるのだろう。

コンサートは第一部「日本の歌・こころの唄」として「早春賦」「りんごの唄」「川の流れのように」など大正、昭和、平成の名曲を網羅。第二部はベストヒット古賀メロディで、「影を慕いて」「悲しい酒」などなど。ゲストの小沢昭一氏がマンドリンをバックに歌った。

前橋中央ライオンズクラブはこれからも、日本人の心に響く歌に乗せて、愛の光を灯す活動を広げていくつもりだ。

情報／矢島弘一（チャリティー・コンサート副実行委員長）

Close up クローズアップ

童謡を通して、日本の心を伝える

野口不二子（茨城県・北茨城ライオネス）

野口雨情生家（県指定文化財）前で

おじいさんが野口雨情という人生を想像したことがあるだろうか。学校で習った童謡の数々――「赤い靴」「七つの子」「青い目のお人形」「シャボン玉」「十五夜お月さん」「証城寺の狸ばやし」「ウサギのダンス」などが、自分の祖父の作ったものだったら……。

不二子さんは、そんな人生を歩んできた。祖父が亡くなったのは二歳の時だったが、取材に来た新聞記者や弟子たちの話から、生前の雨情のことは自然と耳に入ってきた。そのせいか、若いころは雨情を客観的に見る傾向があったようだ。

二十九歳で東京の雨情会に参加し、雨情の研究を始めた。すると、自分の中でふつふつと発酵するものを感じるようになった。年を経るに従い、その思いは強くなり、雨情との一体感を持てるようになったという。

やがて子育てが一段落したころから、請われて雨情や童謡の話をするようになった。それは国内ばかりでなく、海外にも及ぶ。一度、中国残留孤児の方が、童謡を聞いて母親との思い出が甦り涙を流しているのを見てからは、「童謡を通して、人間の心をつなげていきたい」と思うようになった。

この十月からは鶴見女子大学で、童謡の講座を持つ。文部科学省社会教育功労者賞、NHK放送文化賞等を受賞。

取材／編集部

ヤングの主張コンクール開催

栃木県・足利西

足利西ライオンズクラブは足利市教育委員会と共催で「ヤングの主張コンクール」を継続実施している。去年九月の開催で、第四十七回を数えた。毎回十代後半から二十代前半のヤングたち二十人前後が主張を述べる。第一位受賞者は「NHK青春メッセージ」関東甲信越コンクールに駒を進めるほか、翌年度のYE生として希望する国へ無償で派遣される。

しかしコンクール出場によって得るものはそれだけではない。ありきたりな言葉だが、参加することに意義があるのだ。若い脳とハートは日々多くのものを受信し、感じ、考えるだろうが、「主張」として発表するには更に一歩踏み込んだ作業が必要だ。言葉を使って組み立てて形にする。それを声に出して人に伝える。そして言葉がだれかに届いたことを実感し、個々の貴重な体験を大勢の人と共有出来ることを知るのだ。同様の作業を経て発表される人の意見を聞く耳も開けるだろう。その中に自分との共通点や相違点を発見するはずだ。

「言葉には人の心を動かす力があります。言葉でなければ人の心を開くことの出来ない

鍵があります。この場を利用して、心の鍵に磨きをかけてください」

新井孝会長（当時）が第四十七回大会に寄せて若者に送ったエールである。

情報／小林克一（幹事）

市内初の盲導犬お仕事開始

千葉県・浦安

一九九九年から盲導犬育成支援に取り組んできた浦安ライオンズクラブ。昨年末、クラブがスポンサーした「オリオン号」が、浦安市内初の盲導犬としてユーザー佐藤安夫さんに無償貸与され、デビューを果たした。

全国で盲導犬を必要としている人は推定七千八百人。しかし一頭の育成に三～四百万円を要し、現在活動している盲導犬はわずか九百三十頭に過ぎない。浦安ライオンズクラブは盲導犬への理解を深めるために講演会を開催したり、チャリティー・ディナーショーや、市内や近隣地区のホテル

SERVICE ACTIVITIES

新潟（333-A）
1月17日、児童施設・聖園天使園で「新年餅つき大会」を開催。メンバーに手伝ってもらいながら自ら杵を振り上げて餅をついた子どもたち。つきたての餅のおいしさはひとしお。

群馬＝箕郷ライオネス（333-A）
児童養護施設フランシスコの町のクリスマス・パーティーで初舞台を踏んだ群馬＝箕郷ライオネスクラブ人形劇団「おむすび座」。8月の結成以来、日夜積んだ練習の成果を披露した。今後は公演要請にも応じていきたいとか。

千葉県・茂原（333-C）
11月2日、心身障害者施設や養護学校の児童・生徒と保護者ら150人を招き、柿もぎや和太鼓の演奏を楽しむ「ふれあい柿園」を開催。鈴なりの柿に子どもたちは大喜びだった。

や事業所、店舗など約五十カ所に盲導犬募金箱を置かせてもらうなどして善意のお金を集め、昨年末までに総額三百六十四万円を日本盲導犬協会へ寄付してきた。

今回オリオンとパートナーとなる佐藤さんは、実業家として成功を収めていたが、肺炎治療のために飲み始めたステロイドの副作用で失明。その後は倒産などつらい出来事が重なり、不自由な目での歩行の危険もあって、家に引きこもりがちになっていた。しかしオリオンと暮らし始めて生活に張りが出て、心に光が差し込んだようだという。

「またいずれ事業をやりたい。オリオンの力を借りながら世の中の役に立つことをしたい。オリオンのおかげで第三、第四の人生が開けてくるようです」

クラブ・メンバーもまた、多くの方々の善意が一つの形として実を結び、大きな喜びと今後の活動への活力を得た。

情報／金子康行（会長）

千葉県・松戸南（333-C）
1月10日、松戸南レオクラブと共同で「第1回青少年健全育成たこあげ大会」を開催、300人を超える市民が集まった。会場ではベエゴマや大縄飛びなどの昔遊びも行われ、コマの達人ライオンが妙技を披露して子どもたちの尊敬を集める一幕も。

茨城県・常陸大子（333-B）
11月7日、毎年恒例の県立大子養護学校中学部との交流会。今年はマロンタルト、イチゴロールケーキなどケーキ数種の製作に挑戦した。見た目はまちまちだが味は最高！

栃木県・宇都宮（333-B）
2月11日、「第24回宇都宮地区中学校剣道錬成」を主催。市内23の中学校から1、2年生剣士たち325人が参加し、力と技を競った。

SERVICE ACTIVITIES

茨城県 常陸太田

美しい自然と豊かな文化に彩られ、水戸黄門が愛した常陸の歴史町

■取材／編集部

都々逸の元祖

六代目三遊亭圓生は本題の前にちょっと話す、噺のまくらの名人だった。そのまくらの一つに、都々一坊扇歌の話があった。概略はこうだ。

常陸太田の医者の息子として生まれ、十二歳の時に酒屋の養子に迎えられたが、当人は三味線が弾けて声がいいところから、江戸へ出ることを決意。ところが、すぐに金が底をつき、三味線の流しを始めた。それをたまたま通りがかって聴いていた音曲噺の元祖・船遊亭扇橋から気に入られ、弟子となって都々一坊扇歌の名をもらった……。

扇歌は、愛知県の名古屋で発生した「七七七五」の定型詩に、上方で流行していたよしこの節の節をつけて歌うのを得意としていたらしい。ふるいつきたくなるようないい声と節回しで、扇歌はたちまち人気者となり、音曲も都々逸の名で全国に広まった。そんなこともあり、常陸太田では毎年十一月、都々逸の元祖・扇歌の功績を称えて、都々逸全国大会が開催されている。

雪村ゆかりの伝統工芸

常陸太田の文化面を語る上で、もう一人忘れてはならない人物がいる。雪村周継（せっそんしゅうけい）、室町時代末期の禅僧である。が、禅僧と言うより、画僧と言った方がいいだろう。

❶刃入れの後、骨しぼりという技法で竹を割いていく圷さん（茨城県郷土工芸技術伝承者）
❷骨は、い草で編んでいく
❸横山大観揮毫による雪村の碑

雪村は現在の大宮町で生まれ、常陸太田の正宗寺で剃髪した。絵が好きで、敬愛する雪舟や中国画の画法に学び、時には大胆な省略や、奇異にも思える構成を用いて、独特の画風を確立した。

その雪村が創始者と言われるのが、常陸太田に伝わる伝統工芸「雪村団扇」である。雪村団扇は真竹で作った骨に西ノ内和紙を貼り、馬や、かかし、茄子、水戸八景など雪村ゆかりの花鳥山水の水墨画を施す。団扇の形は四角で、その図柄、形は今にそのまま引き継がれている。

大正時代は四、五軒の製作者がいたが、今では八十二歳になる圷總子さんただ一人。小学生のころから父の手伝いをしていたそうで、この道七十年になる。ご主人が存命中は、二人で年に二千本ほど作っていた。が、今はもう千本がやっとだという。

取材中、何人もの人が口にしたのが、「鰻屋が喜ぶ団扇」ということだ。一本一本、丹念に作り上げているだけあって、とても丈夫なのだ。その上、西ノ内和紙がまた強靭で、水につけても破れにくいという代物。江戸時代には商家が大福帳として用い、火事の際には井戸へ投げ入れて焼失を防いだと言われる。

名君に恵まれた土地柄

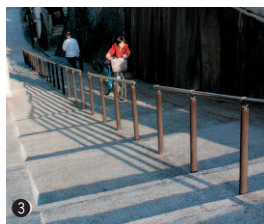
雪村は、常陸太田を本拠とした佐竹一族に生まれた。佐竹氏は、平安時代末期から約四百年にわたって勢力をふるい、豊臣秀吉から五十四万石の領地を与えられていた。が、関ケ原の合戦後、徳川家康が勝利を収めると、戦に加わらなかった佐竹氏は、秋田への移封を命じられた。

その跡を治めたのは水戸徳川家であったが、よそ者だった上、税が上がったため領民の評判は良くなかった。ところが何を思ったか、水戸黄門として知られる第二代藩主光圀は、隠居後わざわざ、佐竹氏の本拠地であった常陸太田に西山荘を建て住み着いている。佐竹氏を慕う領民を懐柔するためという説があるが、真偽のほどは分からない。

西山荘は茅葺き平屋建ての質素な造りとなっている。御座の間と次の間の境には敷居がないのだが、これは百姓町人とも親しく膝を交えて話が出来るようにという光圀の配慮だったらしい。懐柔策はともかく、そんな庶民的な人柄から、領民は光圀を「水戸のご老公」と呼び慕ったようだ。

黄門さまの桃源郷づくり

さて、西山荘での黄門さんは『大日本史』編さんのかた

❶佐竹寺。本堂は茅葺き寄せ棟造りで国指定重要文化財
❷徳川光圀が生母の冥福を祈るため建立した久昌寺
❸光圀の大グルメぶりを取り上げた『黄門さま四季の宴』（発行／常陸太田ライオンズクラブ）。同クラブのウェブサイトで一部が紹介されている(http://park3.wakwak.com/~lions/nisiyama.htm)
❹全長約二キロの山寺水道。光圀が造営したものだ
❺佐竹氏の菩提寺・正宗寺には助さんこと佐々宗淳の墓もある

❶元来は日本酒の蔵元だったが、一九七七年からはワイン造りにも取り組む檜山酒造（ライオン檜山幸平／TEL〇二九四・七八・〇六一一／WEB www.hiyama.co.jp）。原料にこだわり、ぶどうは自家農園で栽培している
❷創業二百年という老舗立川醤油店（ライオン立川久泰／TEL〇二九四・七二・〇一〇八／WEB www5f.biglobe.ne.jp/~mangoku）。こちらも昔は日本酒の蔵元だった
❸❹常陸太田は坂の多い街で、景観に趣を与えている。❹の十王坂は女子高生の通学路になっており、だいこん坂の愛称で呼ばれる

わら、山野を散策したり、薬草園を作ったりして、余生を過ごしたようだ。また、光圀は中国の詩人陶淵明の『桃花源記』に感銘を受け、西山荘を建てる時、ここを桃源郷にしようと、桃の木を植えた。が、桃の木の寿命は二十年だそうで、今や桃源郷の面影はない。十数年前、それに気付いて「黄門さまの桃源郷づくり」運動を始めたのが常陸太田ライオンズクラブ（56人）だ。

同クラブは一九六六年、水戸ライオンズクラブのスポンサーで結成され、六八年に常陸大宮ライオンズクラブをエクステンション、八〇年には常陸太田ライオネスクラブのスポンサーとなっている。また、七五年からは佐竹氏の縁で、秋田ライオンズクラブと姉妹提携を結び、相互交流を実施している。

常陸太田ライオンズクラブの委員会の一つに「ふるさと活性特別委員会」がある。九一年秋、梱包芸術のエバシェフ・クリストさんが、常陸太田市から里美村にかけ無数の傘を立てた。これがきっかけで、ふるさとの美しさを再認識した会員たち。この年からいくつかの活動を経て、九四年に委員会を立ち上げている。

主な活動としては、平成の桃植え事業、市の花である山吹の植樹事業、県北地域探訪の小さな旅などがある。更に二〇〇一年には結成三十五周年記念事業の一つとして『黄門さま四季の宴―お西山食歳記』を出版している。（鈴）

■常陸太田ライオンズクラブから読者プレゼントがあります（64ページ）。

常陸秋そばの里

常陸太田市は今年十二月、金砂郷町、水府村、里美村と合併する。その一つ金砂郷町は「常陸秋そば」の名で知られるそばの産地。約三百戸の農家が、手塩に掛けて秋そばを栽培している。毎年十一月には常陸秋そばフェスティバルが開かれ、「常陸秋そば蕎麦打ち日本一名人戦」や、「全国子供そば打ちグランプリ大会」が行われる。新そば食べ歩きコーナーもあり、各地のうまいそばを思う存分食べ比べることが出来る。

イラストマップ／小川和政

祭のある風景

浦々の歴史伝えて地域にとけ込む絢爛華麗の祭り
怒濤の中で神輿もみあう豪気な裸の若者たち

「大原はだか祭り」千葉県大原町

■文：篠﨑淳之介／切画：風祭竜二

太平洋に面した大原は古くから漁業の集落だった。六世紀前半には、この地方からとれるアワビの天然真珠を「珠」として朝廷に献上するよう、当時の首長に命じたという記録があり、八世紀後半にもこの辺りからとれたアワビが都に献上されていた。

時代がぐっと下がり、明治になると地元の酒造業者木戸泉酒造が、日本有数のアワビの漁場を発見、今もアワビはこの地の名産となっている。

アワビだけではない。イワシ漁もこの地の漁業を特色付けてきた。その昔、安房国から上総国にかけての漁業は関西漁民、中でも紀州の出稼ぎ漁民によって開発されたという。この町の中心となっている大原地区にある八幡岬周辺の小浜浦は、関西から伝えられた「八手網」によるイワシ漁の漁村として開け、今の大原漁港へと発展してきた。

一方、町の南部や西部は、昔から良質の米の産地としても知られ、野の幸、海の幸を交換する市が開かれるようになり、江戸時代初期の十七世紀初頭には近郷十カ村が相談して「大原市」が開かれるようになった。

この地では、江戸期に寺子屋の普及が進み、船方の子どもたちまで難しい『船方往来』などの教科書で漁業の勉強をしていた。代々地元に住む人たちや関西から移住してきた人たちが、一つの地域に溶け込み、向上心をもって力を合わせる風習は、この地の当時からの美風だったようだ。

房総海岸

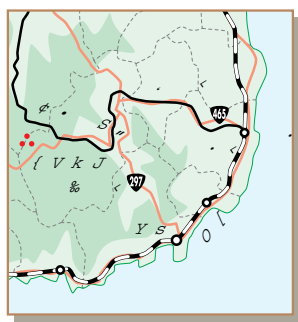
祭りも地域の結束を促す役割を担った。大原地区の大井集落にある滝内神社に、町の文化財となっている祭礼絵馬がある。絵馬は、今から百四十年前の一八六四年に奉納されたものや、それより古く一八四二年とされている物もある。祭りの行事も大漁祈願など今に伝わるものと変わらぬ形になっていて、海辺の集落の祭礼らしい特色を持っていたという。

祭りは九月二十三日と二十四日の二日間行われる。二十三日午前九時、まず、大原地区の十基の神輿が総社鹿島神社に集まり、午後にはほかの地区の八基の神輿と共に大原漁港に向かう。五穀豊穣、大漁祈願を終えて、午後三時ごろ、神輿は「汐ふみ」の行事に突入する。神輿は一斉に海に向かって担ぎ込まれ、互いにもみ合い、時に激しくぶつかり、海中を駆け回る。裸の若者たちが、しぶきを飛ばして神輿を投げ上げ、がっしと受けとめ、怒濤に舞う神輿の姿は豪快そのものだ。

「汐ふみ」を終わった十八基の神輿は、浜の歴史と共に歩んで来た木戸泉酒造前に集まり、四時半ごろから二基ずつ並んで、約一キロの商店街を大原小学校校庭へと向かう。

五時ごろ、校庭に揃った神輿は、戦国絵巻さながらに互いに競いながら、絢爛華麗に駆け巡る。神輿は高く放り上げられ、受け止められてはまた中空に踊り、祭りは観衆の興奮と共に一気にクライマックスに向かう。気付くと夕暮れ。提灯の灯がともっている。

花火が上がる。灯に囲まれて神輿が寄り添う。二つ三つ、寄り添った神輿に、祭り恒例の唄が捧げられる。大別れの儀式だ。「若け者んども、別れがつらい。会うて別れがなけりゃよい」。

涼風わたる町に神輿が帰って行く。別れ難く、商店街での神輿のもみあいは夜十時ごろまで続く。

●祭りメモ

毎年九月二十三、二十四日。問い合わせ先：大原町水産商工観光課（TEL〇四七〇・六二・二一一一）

●アクセス

大原まではＪＲ東京駅（地下京葉線ホーム）から特急わかしおで約七十分。

●周辺クラブ

大原町にはライオンズはなく、近くに房総勝浦、夷隅のニクラブがある。房総勝浦ライオンズ（寺尾重雄会長／69人）は一九六九年、鴨川ライオンズのスポンサーで結成され、青少年健全育成と高齢者福祉に力を入れている。夷隅ライオンズ（佐藤一夫会長／29人）は、その房総勝浦ライオンズのスポンサーで九三年に結成され、城下町の夷隅町と養老渓谷で有名な大多喜町を奉仕地域とし、青少年健全育成、献血運動、ＹＥ、環境保全に力を入れている。また、キューピット活動（良縁紹介活動）という、ちょっとイキなアクティビティも実施しているという。

■夷隅ライオンズから読者プレゼントがあります(64ページ)。

群馬県・赤城

十数年の歳月をかけて作られている赤城自然園はすごいらしい

■写真と文：編集部

赤城山西麓の森

　一年ほど前、取材で赤城村を訪ねた。赤城ライオンズクラブの皆さんが同行してくれたため、取材は非常に順調に進んだ。予定より早く終わったので、事前調査の時から気になっていた「赤城自然園」へ行ってみることにした。

　赤城山西麓にあり、道はなだらかな上りが続く。途中、深い霧に包まれながら車を走らせていたが、道路沿いの森が美しく、だんだん期待が高まっていった。ところが、着いてみたら全く人気がない。それもそのはず、休園だった。

　入口まで行って入れなかったとなると、やはり気になるもので、東京に戻ってから自然園のことを調べてみた。するとどうだ、開園日より休園日の方が多いのである。

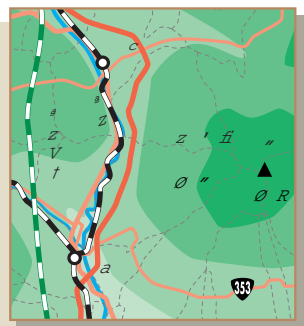
　実はこの赤城自然園、「『本物の自然園を見てもらおう』をテーマに、十数年の歳月をかけて作り続けている」のだという。まだ未完成のため完全公開はせず、時々、特別開園日を設けているのだった。

　「本物の自然園」を「作る」というのは、ちょっとおかしい気もするが、どうやら自然に近い形の造園ということらしい。約三十六万坪の園内は、三つのゾーンに分かれる。

　その一つ「四季の森」は赤城山周辺に自生する植物を楽しむことが出来る美しい森。また「自然生態園」は昆虫を自然に近い環境で観察することにより、生態系の仕組みを知ることが出来る森。そしてもう一つの「セゾンガーデン」は日本一のシャクナゲ園を含む、見事なイングリッシュ・ガーデンとなっている。

　見学した人の話では、「きちんと完成しているように見える」そうだが、同園では「植栽した植物が現地に馴染み、そこに生物が息づくようになるまでは自然ではない」という考えから、正式な開園には至らないのだという。

　そんなわけで、入口で引き返すような間抜けになりたくなければ、事前に開園日を確認してから出掛けよう。
www12.wind.ne.jp/AKAGI-NATURE-PARK/

　ところで、表紙の写真は自然園近くの道路沿いに咲いていたアジサイだ。せっかく来たのだし、と三脚を立てて、とりあえず撮ったもの。転んでもタダでは起きないぞ。（鈴）

●観光一口メモ
関越自動車道・赤城IC近くに、土日だけ営業の農産物直売所があり、新鮮な野菜が並ぶ。また春はいちご、夏はブルーベリー、秋はりんごの観光農園がお勧め。赤城ライオンズクラブ会員の原田いちご園もある。
問い合わせ先：赤城村産業振興課（TEL〇二七九・五六・二一一一）

●アクセス
自然園は赤城ICから大間々子持線を通り約十分。

●周辺クラブ
赤城村には一九九八年結成の赤城ライオンズクラブ（永井敬一会長／30人：TEL〇二七九・二〇・六六六〇）があり、継続事業として毎年、村内施設に会員手作りの木製ベンチを寄贈している。

●獅子吼（ししく）①仏が説法するのを、獅子が吼えて百獣を恐れさせる威力にたとえていう語。②大いに熱弁をふるうこと。（広辞苑）

題字／田村　達夫（広島）

（応募要領→56ページ）

献眼の尊さ

新田　高世（島根県・浜田ライオネス支部）

朝六時ごろ「主人が亡くなった」と、ある奥様から電話が入りました。慌てて病院へ飛んで行き、手を合わせました。部屋の整理などを終えて婦長たちと話し合っているところに、ライオンズの方々が来訪され、「先生の角膜を提供してください」と、奥様に言われました。亡くなられたご主人は眼科医で、功績あるライオンズのメンバーであり、献眼登録をされていました。「奥様にぜひお願いしてください」と、私もライオンズの方に頼まれました。

この時、献眼登録は簡単に出来るが、いざという時には、なかなかご家族の決断に至らないものと痛感しました。この奥様も献眼登録をされていて、理解があったはずですが、実際は簡単にはいきませんでした。ライオンズの方からは「時間制限もあるので、OKが出次第、島根医科大病院から車を出すように待機しております」と連絡がありました。しかし奥様は、私に決断をせかされ、お嬢さんも右往左往するばかり。結局は、眼科医であるご子息が福岡から到着されるのを待って早々に話を進め、「父の遺志を尊重します」と、理解ある返事を頂くことが出来ました。ライオンズの方が道案内に立たれたためか、島根医科大病院には意外に早く到着し、眼は手際よく摘出され、早速、移植現場へと飛んで行きました。

その後、奥様は安心と安堵の面持ちで、「見てちょうだい、主人の顔が変わりなくてきれいよ」とおっしゃり、私に感謝してくださいました。眼を提供すれば、目元がくぼんでしまうと思われていたのでしょう。「良かったわね。最高の奉仕よ。いろいろと苦しまれたでしょうけど、先生とてもきれいね」と、私たちは手を取り合いました。

かく言う私も、角膜剥離で左眼に穴が空き、二度の手術でなんとか明るさだけが残され、眼の不自由さを痛切に感じている毎日です。盲目の人を助ける奉仕の何と尊いことよ。ご主人の眼も、だれかに移植されて明るく生きていることを思えば、奥様もたいへん良いこ

とをされたと思います。
ライオンズクラブの一員として、今一度、献眼について問い直してみる必要があるのではないでしょうか。

（宝石・時計販売・73歳）

献血に思う

樋口　正洋（群馬県・太田中央）

献血は人間の健康、生命に対する重要な貢献活動の一つであり、思いやりの表現でもある。実際、献血事業によって数え切れないほどの人命が救われている。

学生時代に献血の思い出がある。気が弱かったせいか、血を見ただけで全身から力が抜ける子どもだった。大人になった今でも、針の刺さった腕を見るのが怖くて、注射をする時は目をそむけてしまう。そんな私だが、大学生の時、生まれて初めて献血をした。

ある日のお昼過ぎ、御茶の水駅前の広場に白い車が止まっていた。赤十字マークが付いていたので、すぐに献血車であることが分かった。付近には人が群がり、受付の前ではボランティアの女子高校生が数人、献血を勧めるチラシを配布していた。私は何気なしに近付き、次の瞬間、何の抵抗もなく受付カードに氏名を記入していた。私の後ろには、献血を希望する何人かの人々が並び始めた。

あの時、なぜ献血に応じてしまったのだろうと今でも考える。それは、多くの人が持っている「他人に対して奉仕をしたい」という気持ちが、具体的な行動になって現れたのかもしれない。あるいは、単に受付の前にいた女子高校生の華やかな雰囲気に惹かれたのかもしれない。記入済みの受付カードを持って献血車の中に入っていくと、病院独特の消毒液クレゾールの匂いが鼻をついた。

献血をするには、まず血液が適正なものかどうかを検査する。血液検査の間、私は注射針から目をそむけた。目を転じた先には、ベッドの上で献血をしている人の姿があった。牛乳ビンより一回り大きいガラスの容器が逆さに吊るされており、その中に腕から抜かれた血が勢いよく噴き出していた。それを見て、全身の力が抜ける気がした。やがて自分の番が来て、献血用のベッドに横たわった時、当然ながら血を抜かれる自分の腕を見ることが出来なかった。私は外の景色ばかりを観察していた。車窓からは、大きな白いビルが建ち並ぶ冷たい大都会の風景が見えた。しばらく眺めていると、それがある建物のように思えてきた。

白亜の建物だった。正面にはたくさんの小さな窓があり、その最上部には赤い十字のマークが付いていた。その建物は閑静な場所に建つ日赤の白い病棟だった。私の頭の中に一人の少女のことが思い出された。彼女は遠い親戚にあたり、当時、東京の武蔵野に住んでいた。十八歳になったばかりで、日赤病院に勤めながら立派な看護婦を目指して真剣に勉強をしていた。ギターが好きで、時々、病院の患者さんにやさしい音色を聞かせて楽しませていた。付属短大の学園祭では、詩吟部の

イラスト／小川和政

朗詠と共に音楽部としてギターを弾き、車いすの患者さんたちを夢の世界に誘った。彼女は、まさに他人に奉仕するために生きていた。若いながらも、他人の役に立ちたいという信念を持ち、それを赤十字の名の下に実現させていた。

今になって考えると、彼女のことはあの日、献血をしている時に急に思い出されたのではない。それよりずっと以前から、私の脳裏にあったのだと。

なぜなら、私を献血車に近付かせ、何の抵抗もなしに受付カードに氏名を記入させたのは、私の心の中にあった慈悲や奉仕の心ではなく、また受付の前にいた華やかな女子高校生でもなかった。それは人類愛のため、白い天使にあこがれて人々に尽くそうと白亜の病棟に通い続けた女性、そして、惜しくも二十二歳の春に心臓病に倒れ、その暮れにＷＰＷ症候群という病気で亡くなった、若き看護婦・本郷麻理子（仮名）だったと考えられるからである。

（司法書士・50歳）

水と緑、未来に残そう神通川

小川　祐里奈（富山神通レオ）

富山神通レオクラブは昨年度と今年度、富山神通ライオンズクラブの協力を得、神通川の環境問題について考える機会を持ちました。神通川水系に暮らす岐阜県神岡町の小中学生の皆さんにも参加して頂き、「神通川」をいろいろな角度から探求することが出来ました。身近な自然を見直し、どのように未来へ伝えていくべきか、難しい問題ですが、これからも精いっぱい取り組んでいきたいと思います。

富山に生まれて十六年、幼稚園から中学校卒業まで毎日のように神通川を渡って通学しました。あって当たり前、その存在を深く考えたことはありませんでした。一昔前の子どもたちのように川で泳ぐなんて思いもしなかったし、思ったとしてもさせてもらえなかったでしょう。そんな私が神通川を意識したのは、花火大会が開かれる時ぐらいで、川の持つありがた味など全く理解していませんでした。レオクラブの活動で神通川を取り上げたことで、身近な川を通じて地域の環境問題を考えてみようと思いました。

神通川は富山県のほぼ真ん中を南から北へ

流れ、富山湾に注いでいます。富山湾に流れ込む多くの河川の中で、流域面積においても長さにおいても最大の川です。上流部は岐阜県北部を流れ、飛騨の中心地・高山と富山平野を結び、その谷間は古くから飛騨と越中を結ぶ重要な通路になっていました。江戸時代になると、大掛かりな治水工事が行われるようになり、神通川の周囲に大水田地帯が出現しました。明治三十二年には、大久保用水の分流が崖を落ちる落差を利用して、富山県初の発電所が建設されました。現在では、神通川水系の発電所は五十六もあるそうです。

神通川は、農業・輸送・発電といった人間の暮らしの基本を支え続けてきました。河川改修も進み、大きな被害をもたらす洪水も、今はほとんどありません。これも、幾多の苦難を乗り越えた先人たちのおかげであるのは言うまでもありません。また現在では、自然とのふれあいの機会を地域住民に与えるという重要な役割を担っていると考えられるようになりました。昭和六十年には、神通川を軸とした水公園ネットワーク整備構想「とやま二十一世紀水公園神通川プラン」が打ち出されています。その構想の基本は、「豊かな水と未来を、新しい視点からの未来のまちづくりの中でも尊重し、うるおいのある県都を創る」というものです。

神通川の未来が、地方都市と川の素晴らしい関係のモデルになるように、そしてその結果、過去になかったような価値を富山市が持つことが出来るように、期待したいと思います。

大学を卒業して東京で働く兄たちと話すと、駅北の運河は整備前の方がよっぽど面白かったと言います。ザリガニを釣ったり、大きな亀やカエルを捕まえた記憶が、懐かしい少年時代の故郷の思い出として頭を離れないのでしょう。コンクリートで固められた護岸では、そんな自然とのふれあいは望むべくもありません。これは今の社会ではやむをえない部分もありますが、これまでの「治水・利水・施設整備のみの川づくり」ではなく、河川生物や環境に配慮した川づくりを行い、人間と魚などの河川生物の共存に期待したいものです。

（高校二年・16歳）

家族と娘とライオンズクラブ

生駒　健之輔（熊本県・人吉）

私は小さい時から母親っ子で、母親なしでは親戚の家にも泊まりに行くことが出来なかった。その後は人並みになったつもりだが、高校生になって家を離れる時も、内心では「本当に大丈夫か」と思った。実際、長期休暇の間にはずっと家に帰っていた。というわけで、私は我が家大好き人間なのである。

今では私も親となり、立場が逆になってしまった。我が家でも一人、二人と子どもが家を出て行っている。一人は帰省し一緒に暮らしているが、今度は末の子が家を離れる。末娘ということで心配でもあり、この娘なら大丈夫との思いもある。

実はこの娘は、中学生のころまでいじめを受けていた。いじめていた子は、娘がいつも何かとかばってあげていた、小さいころからの仲良しだったが、ほかの子たちにも仲間はずれを強いたという。ところが娘は、いじめにかかわった人に対して「その程度の人」と見極め、特にその子たちを否定するでもなく冷静に受け止めていたそうだ。いじめを強要された子たちは、そのうちに娘に詫びてきた。「良かバイ、あんたたちもそぎゃんされよったし、騙されとったとやっで良かバイ、気にせんで良かバイ」と、娘は恨むでもなく、仕返しの気持ちを持つでもなく、全く自然に受け入れ、仲の良い友だちとして以前のように付き合っている。

苦しく、口惜しかったであろう時期に、娘はそんな事情を一度も口にしなかった。一人でいじめを乗り越えたと、思い出話のように

聞かせてくれたのは、ずいぶん後になってからのことである。親として何とも迂闊な話であるが、そんな一面をおくびにも出さず、登校拒否をすることもなく、本当によく頑張ってくれたと思う。

娘は、二人の下級生に難癖をつけている十数人の悪ガキたちをつかまえて、「当事者はだれとだれね。ハイ、後は邪魔だけん帰んない、帰んない」と、ケンカの仕方を指導（?）して追い払い、その場を収めてしまったこともあったというから、いじめをいじめと受け止め、ウジウジしなかったところが幸いしたのかもしれない。

そんな娘の名は、明花（さやか）と言う。明日に向かって咲く花のように、いつも明るく、和み、楽しく、笑いの絶えない渦の中に周りをも巻き込める子になってほしい。そんな願いを込めた。

わずか十八歳でこの娘が歩いてきた人生は、平和と自由を守り、友愛と相互理解の精神を心得た寛容の一面を持った人生ではなかったろうかと思う。もちろん親バカであることは百も承知の上である。

いつ、どこでこんな強い精神力を身に付けることが出来たのか、本人が理解出来ているとしたら、いじめに悩み、家に閉じこもり苦しんでいる子どもたちに対して公開すべきことだろう。しかし、残念ながらそれは本人の天真爛漫さがなせる業にほかならないと思う。そんな素地があって現在があるわけだが、この先もこの経験を生かして他人に接してくれることを望む。

（印刷業・51歳）

初級編

ライオンズ・スクール

ライオンズクラブ入門

第6章　ライオンズカレンダー

ライオンズクラブの年度は発祥の地アメリカの会計年度に合わせ、七月から翌年六月までとなっている。毎年、年度替わりのこの時期、六月下旬か七月初旬に国際大会が開催される。開会式で一年間の年次報告が行われ、閉会式では新年度国際会長就任式が執り行われる。このように国際大会は、まさに年度の区切りとなるライオンズクラブ最大の行事なのである。

国際大会は毎年異なる場所で開催され、百を超える国々から約二万人の会員・家族が参加する。世界中のライオンに会って交流出来る素晴らしい機会であり、またさまざまな国を訪れ、その土地、人々、伝統、文化を知る機会をも提供する。

国際大会は通常、火曜日のインターナショナル・パレードから実質的なスタートとなる。パレードはカラフルな民族衣装に身を包んだ世界各国の会員・家族およそ一万人が参加する。この華やかなパレードを見るだけでも、国際大会に参加した価値がある。が、出来れば自分でもパレードに参加し、日本の代表として行進することをお勧めする。

水曜日には開会式があり、ここで国際会長の年次報告が行われる。木曜日午前中の本会議ではゲスト・スピーカーの講演、国際役員立候補者の立会演説会などがあり、午後は各種セミナーが開かれる。最終日となる金曜日の朝はまず国際役員選挙及び国際会則改正案の賛否投票が行われる。その後、閉会式が執り行われ、会則改正案の投票結果と新国際役員の選挙結果が発表される。その最後に新国際会長がアナウンスされ、就任式及び就任演説が行われる。

国際役員選挙及び国際会則改正案の賛否投票は、各クラブの代議員によって行われる。各クラブは国際大会へ、会員二十五人ごとに一人、及び端数十三人以上に一人の代議員及び補欠を出席させることが出来る。代議員の派遣は各クラブの義務であり、代議員権は会員としての大切な権利なので、きちんと行使したい。

七月＝新年度スタート

大会が終わると、いよいよ新年度がスタートする。各地区では、地区ガバナーの公式訪問も始まり、その年度の方針などが各クラブに伝えられていく。ガバナー公式訪問は、クラブにとって地区ガバナーに親しく接する絶好の機会となるので、全員が出席して迎える配慮が必要である。公式訪問はクラブごとに行われるのが原則だが、最近はゾーン単位で行われることが多い。

七月～八月＝夏季青少年交換

YEは「アクティビティ」の章でふれたように、一九六一年に日米学生交換として始まり、今ではライオンズクラブ国際協会の重要な奉仕活動の一つとして、次代を担う青少年たちに貴重な機会を与えている。毎年、七月から八月にかけ、多くの日本人学生が海外へ派遣され、また海外から来日生が日本の家庭にホーム・ステイしている。なお、冬期交換は十二月から一月にかけて実施される。

九月＝ライオン誌月間

一九五九年に国際理事会は九月をライオン誌月間とすることを決定した。この月、全クラブが『ライオン誌』に焦点を当てた特別な企画を設け、『ライオン誌』の重要性を強調することが望まれる。

『ライオン誌』はライオンズクラブ誕生の翌年一九一八年に、創設者メルビン・ジョーンズを編集長に公式機関誌として発刊された。現在、世界中で二十二カ国語、三十二版が発行されている。日本語版は一九五八年に創刊され、八複合地区が共同で全国共通の『ライオン誌』を発行している。日本語版を編集・発行しているライオン誌日本語版事務所の運営及び活動は、各複合地区ガバナー協議会議長によって監督され、実務にはライオン誌日本語版委員会が当たる。委員会は日本からの国際理事と、各複合地区から一人の委員により構成されている。

『ライオン誌』日本語版は会員・家族の投稿欄を数多く設けており、毎年、それら投稿作品の中から優秀作を選び、ライオン誌月間に合わせ九月号で発表している。年度賞にはベスト・エッセー賞のほか、俳壇・歌壇・柳壇、マイ・ベスト・ショットの各年度賞がある。

十月八日＝世界ライオンズ奉仕デー

ライオンズクラブ国際協会の最初の大会（一九一七年十月八日／アメリカ・テキサス州ダラス）を記念して、毎年十月八日に世界中のクラブが、活発な奉仕活動を展開している。

ライオンズ・デーは六二年の日本各地の年次大会及び六五年の東洋・東南アジア大会（現東洋・東南アジア・フォーラム）でその実施が決議されたが、後に七〇年七月、国際理事会で「世界ライオンズ奉仕デー」として認められた。

十月／十一月＝東洋・東南アジア・フォーラム

国際協会は全世界を七つの会則地域に分けており、日本は「東洋・東南アジア地域」に含まれる。「大洋州及びその周辺地域」を除く地域でフォーラムが開かれている。オセアル（OSEAL）フォーラムとも呼ばれる。

フォーラムの目的は「①ライオンズクラブ国際協会の目的と方針を促進する。②地区内及びクラブ役員を指導教育する。③合同事業の可能性を含む奉仕事業一般について、意見や情報を交換する。④LCIFに対する理解と認識の向上を図る」ことにある。東洋・東南アジア・フォーラムは、構成国のうち300複合地区（台湾）、301複合地区（フィリピン）、303地区（香港、マカオ）、308地区（マレーシア、シンガポール、ブルネイ）、310複合地区（タイ）、330～337複合地区（日本）、354～355複合地区（韓国）が持ち回りで開催しており、日本では七年に一度の割で開催される。

フォーラムではいくつかの決議が発表されるが、会則で言う大会ではないため、拘束力を持った決議権はなく、紳士協定的な意味合いのものとなっている。

十一月＝LCIF献金会員月間

「アクティビティ」の章でも述べたが、LCIFは交付金を拠出し、ライオンズクラブ国際協会の活動を支援する財団。その献金プログラムには、千ドル以上献金した人に贈られるメルビン・ジョーンズ・フェローと、各種献金会員プログラムがある。

献金会員には二十ドル、五十ドル、百ドルがあり、二十ドルを献金した会員はドネーションを行った年度が入った献金会員ラペル・ピン、五十ドルを献金した会員には年度の入った銀レベルの献金会員ピンと、ピンの留め金に取り付ける金属製のタブ、百ドルを献金した会員には年度の入った金レベルの献金会員ピンと、金属製のタブが贈られる。

ちなみに、二十ドルでアフリカ及び南アジアで一件の白内障手術、五十ドルで途上国で糖尿病性網膜症の検査、百ドルで西側諸国で低視力の検査

と眼鏡を提供することが出来る。なお、会員全員が二十ドルの無指定献金をしたクラブには一〇〇パーセント献金会員クラブ旗用バナー・パッチとシェブロンが贈られる。

十二月五日＝国際レオ・デー

世界で最初のレオクラブは一九五七年十二月五日に、アメリカ・ペンシルベニア州アビントン高校に結成された。これは同校野球部のコーチを務めていたジム・グレーバー氏が、所属するグレンサイド・ライオンズクラブに提案し、同クラブがスポンサーとなって結成されたもので、結成に加わった会員は三十五人だった。

クラブの名称はリーダーシップ（Leadership）、対等（Equality）、機会（Opportunity）の頭文字を取ってレオ（LEO）という略称を採用した（Equalityは後にExperience［経験］に変更された）。そして、クラブ・カラーとしてアビントン高校のスクール・カラーでもあった栗色と金色を選んだが、これが今日までレオのクラブ・カラーとなっている。

国際理事会は一九六七年に協会の正式プログラムとしてレオクラブを採択、以来、世界各地にレオクラブが広がった。更に理事会では世界最初のアビントン高校レオクラブが結成された十二月五日を「国際レオ・デー」に指定している。

一月十三日＝創設者メルビン・ジョーンズ生誕日

ライオンズクラブ国際協会の創設者メルビン・ジョーンズは一八七九年一月十三日、アメリカ・アリゾナ州のトーマス砦の軍人の家に生まれた。父はインディアン討伐の騎兵隊を指揮していた陸軍大尉ジョン・カルビン・ジョーンズ。メルビン・ジョーンズはジェロニモが逮捕され、インディアンの組織的抵抗が終わる八六年まで、家族と共に騎兵隊の砦の中で育った。

メルビンが十五歳の時、一家は父の転勤でミシシッピ川中流右岸のミズーリ州セントルイスに移り、その後、対岸のイリノイ州クインシーに転居。メルビンはクインシーの大学で法律を学んだ後、二十代でシカゴに出て保険会社に就職。やがて一九一三年、独立して保険代理店を始めたジョーンズの元にビジネス・サークルから昼食会への誘いがあった。このクラブが、後のシカゴ・セントラル・ライオンズクラブで、ライオンズのマザー・クラブと呼ばれている。

一月＝LCIF週間

国際協会は毎年、創設者メルビン・ジョーンズの生誕日をはさんで一週間をLCIF週間に指定している。これは世界中のライオンズクラブがLCIFの役割を再認識すると共に、この機会に各クラブが献金プロジェクトを推進し、財団をサポートするために設けられている。

三月第三日曜日＝日本レオ・デー

一九七九年、八〇年の各複合地区大会において、三月の第三日曜日を「日本レオ・デー」とすることが決議された。前述したように、その後、国際理事会によって十二月五日を「国際レオ・デー」とすることが決議されたが、「日本レオ・デー」は時期的にも適切であるとの理由で存続されている。

三月十五日＝日本ライオンズ創立記念日

日本で最初のライオンズクラブである東京ライオンズクラブは一九五二年三月五日に結成式を行い、その十日後の三月十五日、国際協会に認証された。『ライオン誌』国際本部版一九五二年四月号は、東京ライオンズクラブの誕生を「ライオンズ国際協会に

参加した三十五番目の大国日本」と題して、次のように伝えた。
「三月五日、東京でライオンズクラブが結成されたことによって、日本は、奉仕する人々の世界的集まりであるライオンズ国際協会に加盟する、第三十五番目の大国となった。東京ライオンズクラブは堅塁マニラ・ライオンズクラブのスポンサーのもとに、マニラ・ライオンズクラブのジョージ・バレネンゴア及びゴンザレス国際理事の二人の手で誕生した。
この新しいクラブの誕生は、ライオニズムが奥深く秘めている可能性と有用性、有益性を多くの人々に示し、力づける例証である。
わずか六年前、フィリピンと日本は交戦中であった。言うに言われぬ悲惨と苦痛と死を伴う、激しい全面戦争であった。
フィリピンのライオニズムはこの三月、三周年を迎え、国内には五十一のクラブが盛んに活動している。その誕生記念として、東京にライオンズクラブが結成されたわけである。フィリピンのライオンズはこれより前、ライオニズムがもたらす人類愛と善意と相互理解の精神を伝えるために、日本にクラブを結成する許可を、国際理事会に申し出ていた。
日本の皆さん、我が偉大な善意の人々の協会へようこそ。フィリピンの皆さん、おめでとう」
国連加盟の四年前となるこの年、日本はフィリピン・ライオンズの恩讐を超えたスポンサーにより、大国としてライオニズムの世界に迎えられたのであった。

四月＝世界入会デー

世界ライオンズ入会デーはライオンズクラブの過去、現在及び未来を祝うための世界規模のイベントというビジョンを持って始められたもので、毎年、四月の第三土曜日に全世界一斉に新会員の入会式を執り行おうというキャンペーン。有能な新会員をクラブへ招請し、他者への奉仕というライオンズの務めを再確認することを目的としている。

四月〜六月＝各準地区・複合地区年次大会

「組織」の章でふれたように、日本は八複合地区・三十二準地区で構成されている。毎年、四月から六月にかけて、これらの各地区年次大会が開催される。大会では次期地区ガバナーや副地区ガバナーの選出、各種会計報告の承認や、今後の地区の方向性に関するさまざまな決議が行われる。これらを審議する代議員は準地区大会、複合地区大会とも、会員十人ごと及び端数五人以上について、各クラブは代議員及び補欠一人を派遣出来る。

六月一日＝ヘレン・ケラー・デー

一九七一年に国際理事会は、この年以降六月一日を、「ヘレン・ケラー・デー」として記念事業を行うことを宣言。この日、世界中のライオンズ会員が、視力関連の奉仕事業を実施することを推奨している。ヘレン・ケラー女史は一九六八年六月一日に八十七歳で亡くなっており、ヘレン・ケラー・デーは女史を偲んで始まった。（注：ヘレン・ケラー女史に関しては、第五章「アクティビティ」を参照）
なお、ライオンズクラブ国際協会の創設者であるメルビン・ジョーンズは、一九六一年六月一日に八十二歳で亡くなっており、奇しくも六月一日は、メルビン・ジョーンズの命日にも当たる。

俳壇

■選者　森　澄雄

【特選】

紀三井寺寺山覆ふ花の雲　（和歌山県・伊都高野山）慈幸　久佳

（評）紀三井寺は和歌山市にあり、護国院が正称。山号紀三井山。金剛宝寺と号す。本尊は木造十一面観音立像。開基為光（七七〇年）。寺山はいま桜の花が遠くより雲と見まがうほど覆っている。

辛夷咲く伊根の舟屋の焼竹輪　（大阪府・東大阪）木村　稔

（評）伊根は京都府与謝郡の伊根町。丹後半島の北東端を占め、浦島太郎の伝説の地。伊根浦は湾口に青島が横たわり、波静かな良港。古くから伊根鰤漁の根拠地で名高く、港の周辺には舟屋（ふなや）と呼ばれる階下が舟揚場、上は住居となっている建物がとり囲み、独特の風景をなしている。辛夷（こぶし）の咲く舟屋で焼竹輪を食べている。

（応募要領→56ページ）

【入選】▼

峰に雪曲屋の南部富士　（岩手県・藤沢岩手）藤沢　誠

山寺の懸樋（かけひ）あふるる春の水　（千葉県・船橋シニア）紺谷　宗男

ふらここや水平線より高く漕ぐ　（愛知県・南知多）内田　白花

冴返る祈る佛間に灯の揺らぐ　（三重県・松阪はなしょうぶ）大西　さよ

雪囲ひ解きし筵を並べ干す　（福井県・敦賀）山本　麓潮

傘なくて春雪にぬれおさげ髪　（兵庫県・神戸シニア）野口　章子

山茱萸の盛りの茶店とろろ飯　（大阪夕陽丘）櫂谷　睦美

雲の下雲の飛びゆく春嵐　（大阪夕陽丘）角野　慶子

遣唐使ゆかりの港鳥雲に　（大阪夕陽丘）田中　一栄

寝そべりて草に手枕野に遊ぶ　（大阪府・堺浜寺）仲西　健豊

囀りの結界の昼静寂に　（和歌山県・伊都高野山）慈幸　三沙

祖父の世の銀の燭台春灯　（京都洛陽）澤村　越石

てのひらに乗せて撰ぶや木彫雛　（奈良）小林　成子

走りだす野焼に風の速さ知る　（福岡県・北九州洞海）松本　隆吉

檜皮ぶきなる社なり厳かに　（長崎北）平山　兼則

NGO BOOK REVIEW

医者よ、信念はいらない　まず命を救え！
アフガニスタンで「井戸を掘る」医者　中村 哲

歌壇

■選者 春日真木子

【特選】

波頭にサーファーの黒きウェットスーツのたりとはならぬ浅春の海
（三重県・四日市北）横井 真澄

（評）下句をみると「春の海ひねもすのたりのたりかな」の蕪村の名句を下敷にしている。「のたりのたり」の音韻が、春ののどかな波の印象をゆったりと表現している。平仮名の多い蕪村の句に較べ、掲出歌は片仮名が多いのも時代であろうか。江戸期の海と異なり、今は波頭の上にサーフィンをする若者の姿が目立つ。黒いウェットスーツが、波の寄せくるのを待ち、波乗りを楽しんでいては、波も「のたり」というわけにはゆかないであろう。日本的情調の喪われた春の海を、作者は嘆いているのであろう。

（応募要領→56ページ）

【入選】▼

海の風入れむと窓を少し開けふるさと匂ふ家に眠れり
（青森まほろば）加藤 捷三

春風に青きブラインド少し揺れペン持ちしまま吾はまどろむ
（千葉県・館山中央）荻野 貴子

雪柳しだれて花の咲き初めぬ賜びし友逝き七年を経て
（神奈川県・小田原）清水 幾代

筆談にて主訴を延べたる老患者の古きカルテに壮健の面影（かげ）
（奈良県・大和高田）堀江 禎子

マデイラ島遙かな沖にともる火は黒太刀魚（たちうを）獲るてふ船の灯りか
（福井中央）井上 一男

十五年の生きざまの詩に涙ぐむこの妻あればこその受賞なる
（高知県・土佐香南）野村土佐夫

授賞日に夫は子らと共に発つ庭の実ざくら陽に輝ける
（高知県・土佐香南）野村 禎子

柩には永久（とは）の旅なる杖入れて献眼奉仕の友を称えぬ
（福岡県・北九州洞海）松本 隆吉

逆さ文字左文字ある曽孫の絵手紙繰返し判じ読みする
（福岡県・大牟田中央）松井 翠嵐

電柱の灯りの下ゆ落ち来たるときにたちまち煌く六花（りっか）
（大分県・中津沖代）松本 達雄

柳壇

■選者 大木俊秀

【特選】

艶話つぎを聞きたく酒を注ぐ　（福岡県・北九州洞海）松本　隆吉

（評）率直に申し上げて、こういうタッチの句はいわゆる現代川柳からは敬遠される傾向にあります。大会や句会で上位に抜かれることはまず無いと言ってよいでしょう。俗である、古い、詩性がないといったことが理由です。そうかな？　と私は思います。詩性や新しさや高尚はもちろん大事ですが、俗悪に堕さぬ人間模様の活写も、川柳の大切ないのちです。

地鎮祭儲ける顔がかしこまり　（長崎県・諫早）大崎　博正

（評）いかにも川柳味濃厚な作品と拝見しました。たとえば高層マンションの建設に先立つ地鎮祭。不動産業や建築業など建設に関わる業者の主立った面々が、神妙な表情でこの儀式に参列します。竣工までの無事をご一同様が祈られることは間違いないのですが、やはり最大の関心事は、「完売の日はいつか」。そんなことはおくびにも出さず、玉串奉奠。

（応募要領→56ページ）

【入選】▼

悔いという字を書くときも辞書を引き　（青森県・八戸中央）大久保健峰

もう鳩の出ない帽子と老いぼれる　（青森県・弘前中央）高橋　岳水

ハルウララわが人生に生き写し　（岩手県・藤沢岩手）藤沢　誠

忙しい振りしてみても暇は暇　（岩手県・水沢中央）織田　克文

辛いです本音が言えぬ自衛官　（千葉県・船橋シニア）灘山　徳治

日々平穏大臣の名は知らずとも　（千葉県・東庄）藤﨑　久男

人生のロスタイムにも妻がいる　（埼玉県・浦和シニア）君塚　六郎

雨あがり虹までくれた散歩道　（静岡県・大仁）山本　順平

原因は分かっています不整脈　（大阪府・高槻オリーブ）安藤　千波

住んでみて都と知った垣根ごし　（京都鴨川）栩谷　四朗

デイサービス話題をつめて帰宅する　（広島県・因島）村上　祐司

両親の不仲の今朝を子は見抜く　（鳥取県・松江湖城）長谷川　孝

その奥で何を企むサングラス　（宮崎橘）井上　忠一

置手紙白い孤独が浮いている　（宮崎橘）甲斐　忠視

主義主張程よく曲げて和を保つ　（長崎県・佐世保西）神谷　治雄

NGO BOOK REVIEW

伝言板

■シンポジウム「今、なぜ新渡戸か?」ご案内

六月十九日十三時～、東京・渋谷の国連大学ウタント国際会議場にて、㈳日本ユネスコ協会連盟ほか主催の「今、なぜ新渡戸か?～『武士道』そして五千円札の顔～」が開催されます。

一世紀前に『武士道』を著し、農学博士、教育者、国際人としての功績を残した新渡戸稲造博士の肖像が、今秋五千円札から消えます。新渡戸は国際連盟初代事務局次長として活躍し、ユネスコの前身と言うべき国際知的協力委員会を創設しました。今日の厳しい国際情勢の下、国内にも閉塞感がある中で、新渡戸稲造の事績が現代に持つ意味を改めて問い、特に若い世代に個人の在り方、国際社会への参加について考える機会を提供します。

湊晶子東京女子大学学長ほか二人による講演と、畔柳信夫東京三菱銀行副頭取ら四人によるパネル・ディスカッションが行われます。参加費は無料。氏名、住所、所属、電話番号、メールアドレス、所属（団体・大学等）をご記入の上、往復はがきかEメール（nfuaj_dom@unesco.or.jp）でお申し込みください。あて先は、東京都渋谷区恵比寿一-三-一　朝日生命恵比寿ビル12階（〒150-0013）㈳日本ユネスコ協会連盟シンポジウム係。懇親会（十七時～、無料）に参加希望の方はその旨を明記してください。六月十一日必着。定員は三百人で先着順となります。

同連盟のホームページもご覧下さい。URL：www.unesco.or.jp

➔ライオン誌事務所来訪者芳名録

4 2	東京新都心	守時　光暉
4 2	東京鶯谷	寺田　義和
4 6	長野県松本深志	野中杏一郎
4 6	東京麻布	横瀬　寛一
4 6	岐阜県養老	金山　守司
4 14	東京麻布	戸田　一郎
4 20	千葉県四街道	楠岡　巖
4 20	埼玉県浦和	小峰　理孝
4 23	東京新都心	守時　光暉
5 7	東京調布	嶋﨑　喜一
5 11	東京練馬西	長井　隆充
5 11	東京新都心	渡辺　豊
5 11	東京葵	橋口　啓一
5 11	東京紀尾井町	渡辺　豊隆
5 11	東京	池崎　道男

ライオン誌投稿要領

カラー

■「MY BEST SHOT」60～61ページ

●応募資格　ライオン、ライオネス、レオ及びその家族で、アマチュアの方。

●応募作品（題材は自由）サービス判以上四ツ切までのプリント及び35ミリ以上のスライド。一人5点まで。

●プリントは写真の裏に紙を貼り、スライドには必ずマウントをつけ、氏名、クラブ名、年齢、題名、撮影場所、撮影年月日、住所、電話番号を明記。返却希望の場合は、住所、氏名を記入した返信用封筒に切手を貼り、同封してください。締切は毎月15日。

■「ライオンズ・ギャラリー」62ページ

●応募資格　ライオン、ライオネス、レオ及びその家族。プロ、アマ不問。

●応募作品（絵画、版画／題材は自由）作品のスライド・フィルムか、カラー・プリント（キャビネ判）をお送りください。氏名、クラブ名、年齢、職種、絵のサイズ（号数）、画題を明記し、小文（絵に関するエッセー、自評など400字程度）、顔写真を添付してください。

本文

■「クラブ・リポート」22～26ページ

●アクティビティ、例会など、クラブの活動を800字程度で具体的にお書きください。新聞記事は、新聞名、掲載日を付記。ライオネス、レオクラブの投稿も歓迎。関連写真があれば添付し、写真返却希望の場合は、その旨を明記してください。

■「獅子吼」43～47ページ

●ライオン、ライオネス、レオ及びその家族によるエッセー、提言など。1600字程度にまとめ、職種、年齢を明記してください。

●題字はハガキ程度の大きさで。

■「俳壇」「歌壇」「柳壇」53～55ページ

●応募資格　ライオン、ライオネス、レオ及びその家族。

●一人ハガキ1枚に3句／首まで。締切は毎月15日。

■「リーダース・プラザ」56～57ページ

●クラブ会員刊行物：クラブ並びに会員が刊行された出版物を1部お送りください。

●伝言板：読者間の情報交換にご利用ください。

●読者から：本誌に対するご意見、ご感想をお寄せください。

▼投稿締切の記入のないコラムは、随時受付。誌面の都合で編集したり、掲載出来ない場合もあります。原則として原稿は返却致しません。

▼いずれの場合も住所、氏名、クラブ名を明記。文字原稿の投稿はEメールでも可。写真、絵画などはプリントか、フィルムを郵便でお送りください。

送り先
〒104-0045　東京都中央区築地2-2-1
築地細田ビル7階　ライオン誌日本語版事務所　各コラムあて
TEL03-3542-9571 FAX03-3546-2630
Eメール：edit@thelion.jp

読者から

▼本誌へのご意見・ご感想をお寄せください。 編集部

クエスト・プログラムに感銘

●私たちは二月にチャーター・ナイトを終えたばかり。三十、四十代を中心としたクラブです。事業資金が潤沢ではない今、心が込もっていて、なるべくお金が掛からないアクティビティを模索しています。三月号「インタビュー」で330-C地区がライオンズ・クエスト・プログラムを推進されているという記事を、たいへん興味深くまたうらやましく読ませて頂きました。四月号「THEME/青少年」で同プログラムについて更に詳しく拝見し勉強になりました。本来ライフスキルというものは、身近な人生の先輩の生きざまや友人たちとの語らいを通じて育まれるものだとは思うのですが、現代の青少年の抱える問題はあまりに多い。私たちがその導入のお手伝いを出来たらどんなに素晴らしいかと思います。

大阪府・高槻オリーブ●安藤千波

IT化、皆さんどうしてますか

●「ライオンズのための分かりやすいIT講座」拝見してます。私たちのクラブも数年前からパソコンを活用しています。ISDNは二つの電話番号が持てるのが利点ですが、ADSL等の高速回線の運用も捨てがたい。会員連絡にはファクスの専用番号が有用ですが経費との絡みもあります。パソコンから携帯も含めてメール使用もあり、連絡方法だけでも多岐にわたるようになりました。337-D地区でもIT化のハッパが掛かっていますが、クラブで推進出来るような企画も載せてください。

沖縄県・糸満●宮永良一

具体的な活動記事の掲載を

●三月号『ライオン誌』は我がクラブにとって参考になる記事が多かった。特に「ヘッドライン」の東京町田クレイン・ライオンズクラブや「獅子吼」のライオン永井秀世(兵庫県・加西北条ライオンズクラブ)の海外の子どもたちに小学校を贈る事業、また、「トピックス」の埼玉県・浦和西ライオンズクラブのハッピートーク例会など。工夫されている運営やアクティビティ、抽象的でない記事の掲載を今後もお願い致したい。

島根県・大田●岡田福治

「ライオンズクラブ入門」お役立

●毎月『ライオン誌』が送られてくると必ず目を通しています。一月号からスタートした「ライオンズ・スクール初級編 ライオンズクラブ入門」はとても新会員の役に立つと思います。私たちのクラブにも今期七人の入会がありました。例会にて一度ライオンズ・スクール勉強会を開こうと思っています。

東京新宿御苑●倉田諦

●三月号の「ライオンズクラブ入門/クラブの組織」はたいへん参考になっている。私も長い間ライオンズクラブに在籍しているが、基本的な組織・役割についてあいまいな認識で過ごしてきており、今期地区役員を引き受けている中で、折々に問題となることが多い。もう一度原点に戻って理解しようと考えている。

千葉県・富津●鹿島清太郎

一歩前に踏み出して行動開始!

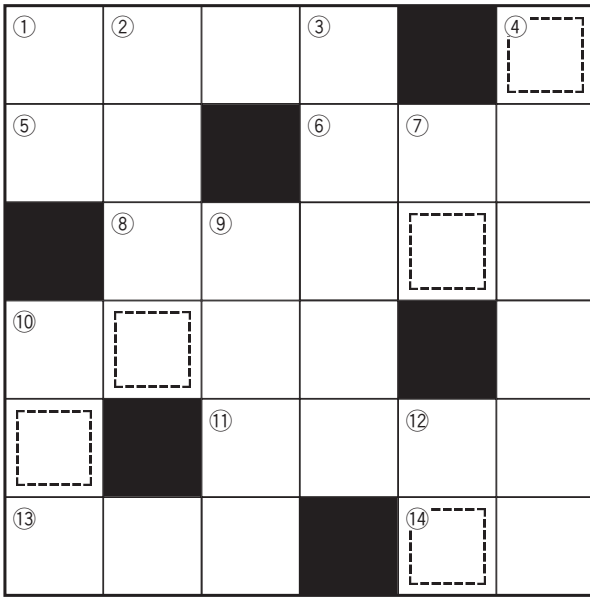
●四月十八日、333-C地区年次大会会場にてユネスコのアフガニスタン文化支援キャンペーンの展示を行いました。大会に参加された皆さんから合計十二万円の募金が寄せられました。四街道市ユネスコ協会会長として改めてお礼を申し上げます。これからもライオンズとユネスコ、双方の活動に力を入れる所存です。ライオンズの皆さん、互いにがんばりましょう!

千葉県・四街道●楠岡嚴

次年度に向け意気揚々

●『ライオン誌』を毎号楽しみに拝読しています。私たちのクラブには二〇〇三年度副地区ガバナーのライオン永井義夫がおり、次年度地区キャビネットが立ち上がる予定です。また、次年度はクラブ結成三十周年も迎え、小生はクラブ会長を仰せつかりました。大きな行事が重なることになり、困惑の中にも、クラブ一丸となって準備を進めています。今後も『ライオン誌』を活用させて頂きます。

島根県・浜田亀山●植野修行

クロスワードパズル

点線に入る文字をヒントを基に並べかえてください。正解者の中から十人の方に記念品を差し上げます。ハガキに答えと氏名、クラブ名、住所、電話番号、本誌の感想を書いてご応募ください（あて先は65ﾍﾟｰ）。締切は六月二十日。

①	②		③	■	④[点線]
⑤		■	⑥	⑦	
■	⑧	⑨		[点線]	
⑩	[点線]			■	
[点線]	■	⑪		⑫	
⑬			■	⑭[点線]	

解答 □□□□□　ヒント：クラブを代表してます。

↓タテのカギ

☒仏教で極楽浄土があると言われる方角。

☒世界文化遺産・姫路城の別名は、○○○○城。

☒英語では航空路線のほかに一直線の意味も。

☒千葉県東端、銚子半島先端の岬。

☒上皇や法皇の御所をこう呼ぶ。

☒本来は、落雷や雷鳴を避ける呪文。忌まわしいことを避ける時も言う。

☒自動車や自転車などの荷物を載せる部分。

☒英語で「男」のこと。

←ヨコのカギ

☒十八世紀中ごろ、鈴木春信らによって創始された多色刷浮世絵版画。

☒うそがバレそうになっても切り通す。

☒北海道に居住する先住民族。

☒「桜桃」とも呼ばれる果実。

☒花見のころの上野公園など、たいへんなもの。

☒竹で出来た骨組に紙を張り、油をひいた雨傘。

☒ロシア語で「魚の卵」の意。

☒江戸っ子気質の代表。

■前回の答え

ナ	[デ]	ガ	[タ]	■	キ
ナ	ン	■	イ	[ア]	ツ
[ツ]	カ	[イ]	テ	■	ネ
ド	■	カ	ン	[ス]	ウ
ウ	[ー]	ル	■	イ	ド
グ	■	ガ	ン	ジ	ン

答えは「スタディツアー」

おいしい健康レシピ

最終回 梅雨の季節を快適に「あしたばのかき揚げ」

イラスト／吉田悦子

■フード・セラピスト 丸茂ゆきこ
（東京ウィル・ライオンズクラブ／会長）

現代のストレス社会に対応した、食べ物と体と心の氣を結ぶ「結氣膳（ゆきぜん）」を提唱。豊かな健康づくりの普及に努め、新聞『夕刊フジ』『通信協会雑誌』などへの執筆活動、講演など多彩に活躍中。近著『手作り健康生ジュース』（主婦の友社）。

紫陽花が凛と美しく感じられる6月。この時期は梅雨に入るため、気温の上昇と湿度の影響から体の新陳代謝が鈍り、手足がむくんだり胃腸障害を起こしやすくなります。よく冬に強い「冬型人間」と、夏に強い「夏型人間」にタイプ分けがされますが、どちらかの季節に強く、どちらかの季節が苦手という方は、五臓のどこかの機能が弱いと考えてよいでしょう。夏は、中医学でとらえる「心」や「脾」の働きが高まる季節です。普段から循環器系のトラブルをお持ちの方や精神的なストレスを多くためている方は、「心」の失調症状が現れやすくなるため、この季節は特にイライラ感が強くなったり、不眠や多夢、耳鳴り、手足無力症などの症状が現れやすくなります。中医学での「心」の働きは、心臓の循環器としての働きに加えて、心の働きとして、精神、意識、思考活動など、大脳の働きとも深くかかわっています。心機能の弱い、いわゆる心気不足の方は、不安にかられたり、動悸、息切れ、寝汗などの症状が現れやすくなります。逆に心気旺盛な方は、イライラ感が強く怒りっぽくなったり、胸のつまり感やのぼせ、手足のほてる症状が現れます。いずれの場合も普段の食事内容を見直す必要があります。出来るだけご自分の体の状態に合った食品を摂り入れるように、切り替えていくことが大切です。例えば、心気不足の方が体を冷やす食品や、アクの強い野菜、苦味のあるものを摂るのはあまり好ましくありません。このような体質の方に限ってコーヒーを1日に何杯も飲んでいることもあります。また、心気旺盛なタイプの方は、辛いものを控え、苦味のある食品を多めに摂るとよいでしょう。季節ごとの体の変化に応じた食品を摂ることは、体内の陰陽バランスを整えることになります。これから出回る、夏野菜や旬の果物なども上手に摂り入れていきましょう。

さて、去る3月10日に東京で行われた「330複合地区女性会員フォーラム」には、ライオンズクラブにおける女性会員の意識向上と会員増強を目指し、全国各地から500人を超える女性の方が参集されました。これからの時代、老若男女問わず「社会貢献」という意識を高めていくことの必要性を、改めて認識しました。

今月の健康レシピ

あしたばのかき揚げ（4人分）

【材料】

あしたば：1束　ピーナッツ：1／2カップ　天ぷらの衣（小麦粉1カップ　卵1個　冷水1／2カップ）揚げ油適宜

【作り方】

1. あしたばは洗って葉の部分だけ摘む。ピーナッツは粗く砕く。
2. 上げ衣の材料をさっくり混ぜ合わせ、1.にこねないようにからめ、170度の揚げ油で揚げる。

ホームページhttp://www.marumo-yukiko.net

MY BEST SHOT

❶流森芳史　広島あさひ･74歳［微笑み］

講評　■選：河相正名
日本写真家協会会員

今月の格言：写真は知力･体力･眼力である

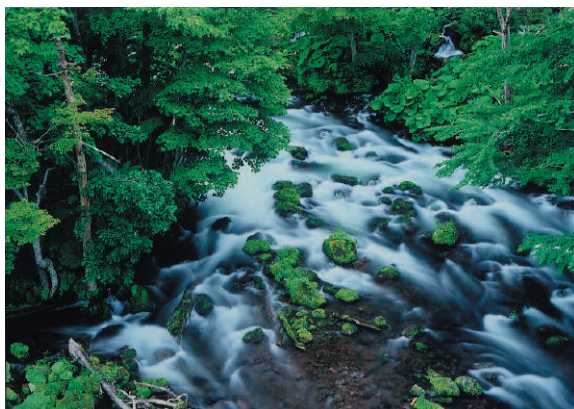
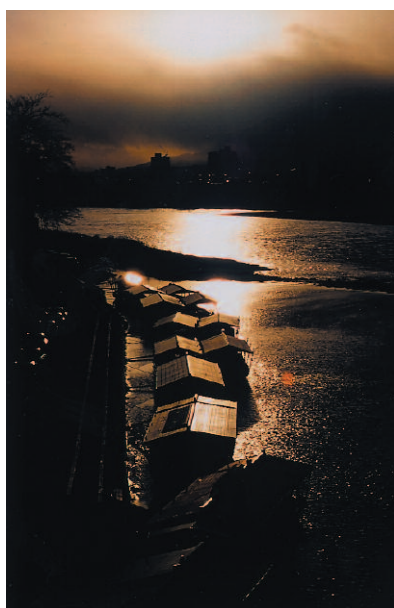
❶荒れ地の中から、そこだけパッと花が咲いたような華やかさがある。色彩のとらえ方が見事。フレーミングにより画面をシンプルに構成したことで、より一層強い印象を与えることに成功している。ピントがやや甘いのが惜しまれる。

❷何でもない草なのだが、マクロレンズを使って、物語性のある作品に仕上げている。ぼかし具合といい、色の配置といい、バックの処理が素晴らしい。

❸非常にいいロケーションを見つけたものだ。だれが見ても、タイトル通りの印象を持つだろう。シャッタースピード、構図とも申し分ない。

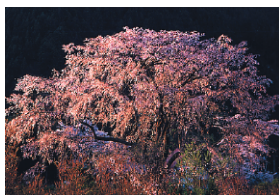
❹鳥たちの配置とシルエットでの描き方により、自然の豊かさを感じさせる写真となった。

❺光と影をうまく使った。屋形舟をセピア調で描き、日本的な美しさを出しているが、上部の風景によりその印象が薄れてしまったのが残念。

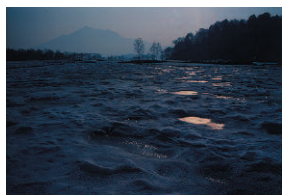
❸相馬幸次郎　北海道帯広平原·61歳［新緑と清流］

❷菊野善之助　愛媛県松山·82歳［春の朝］

❺服部正樹
岐阜伊奈波
67歳［冬の光彩］

❹倉本隆之　広島あさひ·62歳［清流·瀬野川］

木村文丸
青森県弘前
69歳
［山里の春］

池内嘉正　大阪上町桜·64歳［かたらい］

植田啓介　広島あさひ·53歳［映える桜］

岡田良弘　広島あさひ［花電車］

鳥羽孝哉　長野県松本アルプス·74歳
［春雪］

横内孟　山梨県南アルプス·59歳
［雪原］

畔柳東一　愛知県岡崎竜城·51歳
［春の気配］

和澤一男　石川県金沢菊水·77歳
［花に舞ふ］

LIONS GALLERY

「窓からの眺め」水彩　10号

荒木敏夫
愛知県・名古屋本丸
不動産業

第二の人生、六十歳の手習いで絵画を始めました。絵を描くのは小学生のころしか経験がありません。現在、地域の絵画教室で学びつつ、洋画は明成会、日本画は有樹女会に所属して楽しんで描いております。

この作品は昨年、最愛の妻が食道がんで名古屋大学医学部附属病院に入院、手術を受けた際に、看護をしながら病室の窓からの眺めを描いたものです。名古屋市鶴舞公園の全ぼうと市内がたいへん素晴らしい光景でした。

おかげさまで手術は無事成功。今は自宅療養しながら完治を目指し、夫婦仲良く暮らしています。

（あらき　としお・64歳）

第16回

国際平和ポスター・コンテスト

2003-04 Lions International Peace Poster Contest

最優秀賞

ヴィットリア・サンセバスチアーノさん（12歳）
イタリア／ノヴィ・リグレ・ライオンズクラブ

「ろうそくの炎は明るい未来への道を照らし、ろうその部分には世界中のさまざまな国々の平和が混ぜ合わされています」

二〇〇三・〇四年度の第十六回国際平和ポスター・コンテストで最優秀賞に選ばれたヴィットリア・サンセバスチアーノさんは、テーマ「明るい明日を築こう」を一本のろうそくで表現した。ヴィットリアさんは、三月十二日にアメリカ・ニューヨークの国連ビルで開催された国連ライオンズ・デーに招かれ、授賞式でテーサップ・リー国際会長から楯と賞金二千五百ドルを手渡された。

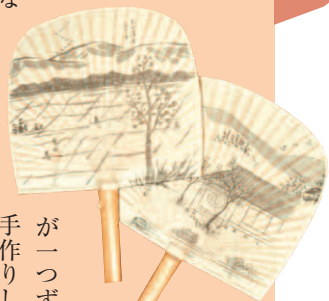
今回のコンテストには、世界中で三十五万人以上の子どもたちが参加し、平和への願いをポスターに託した。審査では独創性や芸術性、コンテスト・テーマの表現力が評価され、ヴィットリアさんと共に最終審査に残った二十三人には優秀賞が贈られた。日本人の受賞はなかった。

二〇〇四・〇五年度国際平和ポスター・コンテストのテーマは「平和な世界はつくれる！」。コンテストをスポンサーするのに必要な日本語版キット（十五・五ドル／送料別）は、ライオンズクラブ国際協会日本事務所（TEL〇三・三四九四・二九三一　FAX〇三・三四九四・二九三三）で十月一日まで販売される。コンテスト要項やスケジュールなどの情報は、国際協会公式ウェブサイトの「青少年プログラム」のページに掲載されている。

読者プレゼント

■雪村団扇を五人の読者に

「ふるさと探訪」(36ページ)に登場した茨城県・常陸太田ライオンズクラブ(助川是也会長)から、本文でも紹介した雪村団扇が五人の読者にプレゼントされます。

地元産の真竹で作った骨を広げながらイグサで編んで和紙を貼り、室町時代末期の画僧・雪村が好んで描いた絵を施しました。たった一人の団扇職人、圷總子さんが一つずつていねいに手作りしています。材料も製法も雪村の時代から変わらぬ団扇の、優しい風をお楽しみください。

EDITOR'S ROOM

■栃木下駄を三人、民芸ミニ下駄を五人の読者に

333-B地区栃木うづまライオンズクラブから栃木下駄が三人の読者に、また栃木ライオンズクラブからミニ下駄が五人の読者にプレゼントされます。

写真はイメージです

栃木は下駄の三大産地の一つ。北関東一帯に産する野州桐は質が高く、江戸時代から栃木下駄は有名でした。デザインの多様性も特徴です。

また、この名産の下駄を利用して作られたのが民芸ミニ下駄。蔵を建てるほどの財を成すように、赤子に履かせ足が丈夫になるようにと「蔵下駄」、「力下駄」とも愛称されています。

■海洋深層水「マハロ」を五十人の読者に

「クローズアップ」(32ページ)に登場したライオン恩田利平太(新潟県・見附嵐南ライオンズクラブ)から、「マハロ」一・五リットル入り六本セットが五十人の読者にプレゼントされます。河川や大気の汚染と交わることがなく、清浄で安全な海洋深層水。人間の血液と非常に近いミネラル分を含む水です。

■「最中十万石」を十人の読者に

「祭りのある風景」(40ページ)に登場した千葉県・夷隅ライオンズクラブから、大多喜町の銘菓、御菓子司・津和屋の「最中十万石」が十人の読者にプレゼントされます。北海道十勝産の小豆で作ったつぶあんと厳選された国産の餅米を原料に、ていねいに手で焼いた最高級の最中です。

■ゆばと釜あげ豆腐のセットを五人の読者に

「サービス・アクティビティ」(35ページ)に登場した茨城県・常陸大子ライオンズクラブからゆばと釜あげ豆腐のセットが五人の読者にプレゼントされます。奥久慈特産の良質の大豆と、名水百選にも選ばれている八溝山系の清らかな水を使って作られるこだわりの逸品。水戸黄門も堪能したと言われています。

プレゼント応募要項

はがきに住所、氏名、電話番号、クラブ名と「団扇」「水」「もなか」「栃木下駄」「ミニ下駄」「ゆばと豆腐セット」とご希望の品を明記し、下記のあて先へ。本誌へのご意見、ご感想もお書き添えください。締切は6月末日。応募多数の場合は抽選となります。当選のお知らせはプレゼントの発送をもって代えさせて頂きます。

ライオン誌日本語版事務所
〒104-0045
東京都中央区築地2-2-1 築地細田ビル7階
ウェブサイトからの応募
URL: www.lionsclubs.org/JA/content/thelion_present_form.html

次号予告

THEME
ノーマライゼーション

自立を目指して働きたいと願う障害者がいる。が、一般の学生でも就職難のこの時代、障害者の就労には高い壁がある。法が定める一般企業の障害者雇用率は一・八パーセント。が、現実の雇用率は一・五パーセント弱で、知的障害者に限ると、その割合はもっと低くなると言われる。そんな現状を打破するには……。

ROAR・ローア
――まるごと334複合地区

七月号は334複合地区特集。「ヘッドライン」はアクティビティを堀川浄化に特化させた愛知県・名古屋堀川ライオンズクラブを紹介。「インタビュー」は二〇〇五年二月に長野で開催されるスペシャルオリンピックス冬季世界大会への支援活動について地元長野のライオンズに聞く。「ふるさと探訪」は岐阜県・板取村を訪ねる。面積の九九パーセントを森林が占める板取村は、その豊かな自然環境を生かした観光立村を目指し、スイスを手本に村づくりを進めてきた。深い森と板取川の清流、都会との交流を図るクラフト館、地元の食材を生かした村の味など、「板取スイス村」の魅力を紹介する。「祭りのある風景」は石川県七尾市の石崎奉燈祭。高さ十二メートルを超える巨大な「奉燈」六基が練り歩き、能登を代表する夏祭りとなっている。

Official publication of Lions Clubs International.

Published by authority of the Board of Directors in 22 languages – English, Spanish, Japanese, French, Swedish, Italian, German, Finnish, Flemish-French, Korean, Portuguese, Dutch, Danish, Chinese, Norwegian, Icelandic, Turkish, Greek, Hindi, Polish, Indnesian and Thai.

Lions Clubs International Headquarters
300 W 22ND STREET OAK BROOK IL 60523-8842
USA
TEL.(630)571-5466 FAX.(630)571-8890
Web site: www.lionsclubs.org

ライオン誌日本語版委員会
国際理事　亀井良次・大久保彦
委員長　内山宏(335)
編集長　小野善男(331)
委員　今井三和(330)・高橋義太郎(332)
木村敬之介(333)・林孝(334)
三上純一郎(336)・林榮一(337)

ライオン誌日本語版事務所
〒104-0045 東京都中央区築地2-2-1 築地細田ビル7階
TEL.(03)3542-9571(代)　FAX.(03)3546-2630
E-mail. edit@thelion.jp

編集室

感謝の一言

ライオン誌
日本語版編集長
◉
小野善男

ライオン誌日本語版委員会の委員として、丸二年を迎えようとしています。編集長を務めさせて頂いた一年を振り返ると、計画通りに出来たのか私なりの疑問もありますが、委員の皆さんのご協力もあり、何とか務めることが出来たように思います。感謝を申し上げます。

今年一月号から始まった「ライオンズ・スクール」初級編、「女性会員」にスポットを当て、四人の女性会員に集まって頂いての座談会「日本ライオンズの新たなる扉を開く」、また、まるごと八複合地区「ＲＯＡＲ」では、各地区の委員やメンバーの皆さんのご協力を頂き、それぞれの元気な姿を良い形でライオン誌に掲載することが出来ました。ほかにも「ヘッドライン」「トピックス」「クローズアップ」「ふるさと探訪」、そしてさまざまな方からご提供頂いた「読者プレゼント」など、これらの構成で誌面を作り上げられたことに心から感謝申し上げます。ただ残念なことは、誌面に限りがあるため、皆さんからご投稿頂いたすべてを掲載することが出来なかったことを心からお詫び致します。

この二年間、ライオン誌委員会の委員として過ごしたことは一生涯心に残る良い機会であったと思います。人生を振り返ってみた時に、私は常にだれかに支えられていたように思います。人を思いやる心が原点であり、人との出会いからすべてが始まると思っております。

先般、シーウー・リー国際理事、ライオン誌韓国版委員会の宋奉奎委員長ほか三人の来所を頂き、懇談会を開催しました。大久保国際理事の助言を頂きながら、約四時間、実のある交流が出来ました。

また、私は五月十三日に済州島を訪れた際、宋委員長を表敬訪問し、一時間ほどお話しをする機会を得ました。現在済州島では人口約五十五万人に対し、ライオンズは三十七クラブ、メンバー千二百人がいるそうです。宋委員長が経営されている観光名所の翰林公園にも案内して頂きました。敷地面積は約十万坪というこの公園には、年に百二十万から百五十万人の観光客が訪れるそうです。宋委員長にお会いすることが出来、本当によかったと思いました。

最後になりますが、編集委員の皆さん、スタッフの皆さん、二年間ありがとうございました。

日本ライオンズクラブ 分布図

（二〇〇四年二月二十九日 国際協会集計）

世界のライオンズ

	■クラブ数 前期末	現在	■会員数 前期末		現在増減
ライオンズ国または領域 前期末191 現在192	45,766	46,366	1,357,489	1,357,985	496

日本のライオンズ

	■クラブ数 前期末	現在	■会員数 前期末		現在増減
331-A北海道（道央地区）76	75	76	3,029	3,030	1
331-B北海道（道北･道東地区）100	100	100	3,536	3,509	△ 27
331-C北海道（道南地区）62	62	62	2,426	2,453	27
小計	237	238	8,991	8,992	1
332-A青森67	67	67	2,428	2,415	△ 13
332-B岩手57	56	57	2,046	2,084	38
332-C宮城81	81	81	2,014	2,003	△ 11
332-D福島83	82	83	2,509	2,508	△ 1
332-E山形57	57	57	2,251	2,229	△ 22
332-F秋田57	57	57	1,809	1,803	△ 6
小計	400	402	13,057	13,042	△ 15
333-A新潟84/群馬58	140	142	5,618	5,632	14
333-B茨城81/栃木60	140	141	4,695	4,708	13
333-C千葉126	126	126	3,647	3,703	56
小計	406	409	13,960	14,043	83
330-A東京197	197	197	5,823	5,768	△ 55
330-B神奈川163/山梨35/東京1	199	199	6,289	6,337	48
330-C埼玉111	111	111	3,261	3,229	△ 32
小計	507	507	15,373	15,334	△ 39
334-A愛知115	114	115	6,413	6,402	△ 11
334-B岐阜56/三重36	92	92	4,534	4,529	△ 5
334-C静岡84	84	84	3,866	3,821	△ 45
334-D富山38/石川33/福井27	98	98	4,679	4,690	11
334-E長野55	55	55	2,625	2,650	25
小計	443	444	22,117	22,092	△ 25
335-A兵庫（東） 116	116	116	3,714	3,587	△ 127
335-B大阪167/和歌山26	190	193	7,790	7,811	21
335-C滋賀24/京都81/奈良18	122	123	4,985	5,030	45
335-D兵庫（西）67	67	67	2,752	2,720	△ 32
小計	495	499	19,241	19,148	△ 93
336-A徳島36/高知33/香川31/愛媛53	151	153	6,931	6,988	57
336-B鳥取23/岡山81	104	105	4,443	4,384	△ 59
336-C広島107	107	107	4,427	4,399	△ 28
336-D島根48/山口61	109	109	4,313	4,319	6
小計	471	474	20,114	20,090	△ 24
337-A福岡116/長崎3	119	119	5,466	5,461	△ 5
337-B大分47/宮崎47	94	94	3,441	3,460	19
337-C佐賀31/長崎54	82	85	3,295	3,423	128
337-D熊本58/鹿児島57/沖縄27	142	142	4,815	4,804	△ 11
小計	437	440	17,017	17,148	131
合計	3,396	3,413	129,870	129,889	19
世界のライオンズの		7.4%		9.6%	